

VOC 排出抑制に係る自主的取組のフォローアップについて
平成 24 年度実績（個票）

1 日本ガス協会	3
2 日本染色協会	5
3 日本製紙連合会	7
4 日本鉄鋼連盟	9
5 電機・電子 4 団体	11
6 日本塗料工業会	13
7 日本自動車部品工業会	15
8 日本自動車工業会	17
9 線材製品協会	19
10 日本伸銅協会	21
11 全国鍍金工業組合連合会	23
12 日本電線工業会	25
13 日本溶融亜鉛鍍金協会	27
14 日本アルミニウム協会	29
15 日本建材・住宅設備産業協会	31
16 天然ガス鉱業会	33
17 石油連盟	35
18 日本化学工業協会	39
19 日本印刷産業連合会	41
20 ドラム缶工業会	43
21 軽金属製品協会	45
22 日本プラスチック工業連盟	47
23 日本オフィス家具協会	49
24 日本表面処理機材工業会	51
25 日本自動車車体工業会	53
26 日本接着剤工業会	55
28 プレハブ建築協会	61
29 印刷インキ工業連合会	63
30 日本工業塗装協同組合連合会	65
31 日本ゴム工業会	67
32 日本自動車車体整備協同組合連合会	69
33 日本粘着テープ工業会	71
34 全国楽器協会	73
35 日本釣用品工業会	75
36 日本金属ハウスウェア工業組合	77
37 日本金属洋食器工業組合	79
39 日本ガス石油機器工業会	81
その他（産業環境管理協会）	83
物質別 VOC 排出量	85

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名

1 日本ガス協会
- 補足範囲

■ 業 種

ガス業

■ 加盟率

100% (ガス業のうち一般ガス事業者の加盟率100%)

■ 補足率

同上 (同上)
- 主な排出源

■ 貯蔵

・ナフサタンク

- 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

0社 (参加する全ての会社 (9社) からの排出量が0となったため)

■ 対象物質

ナフサ

- 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}									
排出量	87	27	0	0	0	0	0	0	0
(増減率 ^{※2})	-	(▲69%)	(▲100%)	(▲100%)	(▲100%)	(▲100%)	(▲100%)	(▲100%)	(▲100%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
参加企業数								9	
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計	0	0							
(対全国比)	(0%)	(0%)							
関東地域 ^{※3}	0	0							
関西地域 ^{※4}	0	0							
中部地域 ^{※5}	0	0							

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%)＝ $\frac{(\text{当該年度の排出量}-12\text{年度の排出量})}{12\text{年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

- 使用量の推計方法
- 排出量の推計方法
- 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

17年度に都市ガス天然ガス化計画により、ナフサタンクを全廃

■ 自己評価

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名 2 日本染色協会
- 補足範囲
- 業 種 繊維等機械染色整理業(ただし、毛織物機械染色整理業を除く)
 - 加盟率 81% (生産量ベース、繊維統計、ただし毛整理業を除く)
 - 補足率 49% (同上)
- 主な排出源
- 接着 ・コンパージング加工(ラミネート、コーティング、ボンディング)の乾燥工程
 - 印刷 ・仕上加工の乾燥・ペーキング(形態安定加工)工程
 - ・捺染(プリント)の乾燥工程
- 除外・すそ切りの考え方
- 対象企業 事業所・物質当たり年間1トン以上使用実績のある事業所を対象
 - 対象物質 年間1トン以上使用実績のある物質を対象

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}									
排出量	8,558	7,118	6,888	6,354	5,162	4,054	3,043	2,727	2,072
(増減率 ^{※2})	-	(▲17%)	(▲20%)	(▲26%)	(▲40%)	(▲53%)	(▲64%)	(▲68%)	(▲76%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
参加企業数									31
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計									
(対全国比)									
関東地域 ^{※3}									
関西地域 ^{※4}									
中部地域 ^{※5}									

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

- 使用量の推計方法 会員企業に対して、アンケート調査を実施して集計した。
- 排出量の推計方法 ①PRTR対象物質については、PRTR法と同様の排出率を採用する。②PRTR対象外物質であって、類似のPRTR対象物質がある場合はその物質を参考に排出量を推計する。③PRTR対象外物質であって、他に参考となるデータがない場合は実際に測定を行う。
- 参加企業数の増減理由 2社は、VOC使用が年間1トン未満であったことから、自主行動計画参加をとり止めた。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

- ・代替物質への転換
- ・ターペン使用量の減少
- ・回収処理装置の導入

■ 自己評価

平成24年度のVOC排出削減率は平成12年度比で75.8%であり、平成22年度比では31.9%であった。対前年度比のVOC削減率も21.5ポイント向上した。法規制設備である既存の大型コンバーティング設備へのVOCの処理・回収設備の導入が平成21年度で完了し、安定稼働期に入ったこと、また各設備においてVOC使用量の削減及び水溶性薬剤への転換を地道に実施してきた成果と考える。しかし、全体的に生産数量が減少していることの影響も大きいと推測されるため、自己評価は「B」ランクとした。

○ その他

特になし。

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名

3 日本製紙連合会
- 補足範囲

■ 業 種

パルプ・紙・紙加工品製造業

■ 加盟率

86%（紙・板紙生産量ベース、経済産業省統計）

■ 補足率

100% （同上）
- 主な排出源

■ 印刷

・印刷後の乾燥工程
・マスター紙の乾燥工程
・剥離紙、粘着製品等の製造工程

■ 接着
- 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

会員企業中、アンケート回答のあった企業を対象

■ 対象物質

全VOCを対象

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}	18,079	21,014	18,047	16,526	15,197	14,436	16,830	15,813	14,423
排出量	10,015	4,222	4,534	4,049	3,614	3,493	1,641	1,648	1,521
(増減率 ^{※2})	-	(▲58%)	(▲55%)	(▲60%)	(▲64%)	(▲65%)	(▲84%)	(▲84%)	(▲85%)
うち法規制対象施設	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(増減率 ^{※2})	-								
参加企業数	24	22	21	22	22	22	20	—	—
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計	2,054	430	390	300	263	418	287	261	231
(対全国比)	(21%)	(10%)	(9%)	(7%)	(7%)	(12%)	(17%)	(16%)	(15%)
関東地域 ^{※3}	2,054	430	390	300	263	418	287	261	231
関西地域 ^{※4}									
中部地域 ^{※5}									

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。
(当該年度の排出量－12年度の排出量) ÷ 12年度の排出量 × 100

※2 増減率(%)＝

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

- 使用量の推計方法

・基本的には、購入量より在庫量を差引いた量を使用量としている。なお、薬品類等は、含有濃度を乗じて算出している。
- 排出量の推計方法

・[処理装置等が無い場合] 基本的には、使用量＝排出量としているが、一部定期的の実測している事業所もある。
・[処理装置等有る場合] 処理装置のVOC除去量を定期的の実測し、それに基づき算出している。
- 参加企業数の増減理由

企業合併等による。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

平成22年度を目標とした以前の自主行動計画の運用時は、VOC排出抑制設備の設置を中心に排出量の削減を図った。設備投資が一巡したことから、今後は薬品の代替化や製造工程の管理強化によって平成22年度比で悪化しないように努める。

■ 自己評価

以前の自主行動計画では、年間排出量が多かった5物質(トルエン、メチルエチルケトン、酢酸エチル、イソプロピルアルコール及びメタノール)を排出管理の対象としていたが、現在は排出している全ての物質(現在48物質)を管理している。それでも、全国、地域別ともにVOC排出抑制の目標とされる「基準年度比3割程度削減」に対して、85%削減と十分に達成している。

○ その他

特になし。

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名 4 日本鉄鋼連盟
- 補足範囲
- 業 種 鉄鋼業、金属製品製造業等
 - 加盟率
 - 補足率 約97% (粗鋼生産量ベース)
- 主な排出源
- 塗装 ・鋼材塗装工程
 - 洗浄 ・ステンレス鋼材表面洗浄工程

- 除外・すそ切りの考え方
- 対象企業 ・会員であって製造業を営む企業(団体会員である普通鋼電炉工業会会員を含む)を対象
・ただし、常時使用する従業員20人以下の企業を集計対象から除外
 - 対象物質 PRTR対象50物質とPRTR対象外15物質を対象。ただし、以下の場合は集計対象から除外。
①業として取り扱っている製品(製造プロセス中で精製される副生成物を含む)中の含有率1%未満
(PRTR特定第1種物質は0.1%未満)の物質
②年間使用量が1トン未満(PRTR特定第1種物質は0.5トン未満)の物質

- 排出状況 **赤字:過年度実績の修正箇所** (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}	271,333	242,018	244,356	392,961	389,524	367,288	513,418	500,569	494,135
排出量	6,992	4,518	4,537	4,355	3,996	3,133	3,043	2,777	2,365
(増減率 ^{※2})	-	(▲35%)	(▲35%)	(▲38%)	(▲43%)	(▲55%)	(▲57%)	(▲60%)	(▲66%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	90社	90社	89社	89社	88社	88社	88社	88社	83社
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計	3,190	2,589	2,640	2,548	2,456	1,871	1,739	1,505	1,244
(対全国比)	(46%)	(57%)	(58%)	(59%)	(62%)	(60%)	(58%)	(54%)	(53%)
関東地域 ^{※3}	1,468	1,305	1,272	1,298	1,257	860	672	576	528
関西地域 ^{※4}	1,090	793	816	846	832	706	786	697	511
中部地域 ^{※5}	632	491	552	404	369	306	284	235	205

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

- 使用量の推計方法 取扱量は、対象VOC物質を、①製品又は中間製品として製造した量、②原料、溶剤、冷媒、熱媒、混合や消費などの目的で使用した量、③非意図的に生成して排出した量を合計したものとする。詳細については「鉄鋼業におけるPRTR排出量等算出マニュアル」の「5.定義」「(1)取扱量」参照。
- 排出量の推計方法 「鉄鋼業におけるPRTR排出量等算出マニュアル」(日本鉄鋼連盟)の「6.対象物質毎の算出の考え方」、「7.算出手順」参照。
- 参加企業数の増減理由 会員メーカー間の統合(6社→2社)及び会員メーカーの退会(1社)のため。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 主な対策及びその効果

《平成24年度に実施した主な対策》

- ①設備改良(溶剤回収装置の改造)
- ②溶剤(洗浄剤、塗料希釈用シンナー)等の代替化
- ③工程改善(脱臭炉の燃焼温度向上)

■ 自己評価

《平成24年度に実施した主な対策》

- ①当該装置によるVOC排出抑制効果について、非常に高い改善効果が得られた。
- ②一定程度のVOC排出抑制効果が得られた。
- ③脱臭炉の脱臭効率が改善したことに伴い、VOC排出抑制についても改善効果が得られた。反面、LPガスの消費が増えることによりCO2排出が増える等のデメリットもあり、どのあたりでバランスを取るかが課題。

○ その他

- ・当連盟のVOC排出状況調査では、法規制対象施設とその他の施設からのVOC排出量を合わせて集計している。したがって、「法規制対象施設からの使用量及び排出量のみ」のデータを集計していないことから、P1中段の「排出状況」一覧表中の当該項目については記載していない。
- ・また、対象物質全体での排出削減を目指しているため、別紙には物質別の排出量は記載していない。

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名

5 電機・電子4団体
- 補足範囲

■ 業 種

電気機械器具製造業、一般機械器具製造業(うち事務用・サービス用・民生用機械器具製造業)

■ 加盟率

不明

■ 補足率

95% (業界団体内捕捉率、事業所数ベース)
- 主な排出源

■ 塗装

洗淨
- 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

事業所・物質当たり年間1トン以上を取り扱っている企業を対象

■ 対象物質

排出量合計の95%を占める20物質を対象(イソプロピルアルコール、トルエン、アセトン、酢酸ブチル、メタノール、キシレン、メチルエチルケトン、ジクロロメタン、スチレン、エタノール、その他)

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}	101,933	118,250	125,489	133,377	114,429	111,437	116,562	110,498	102,146
排出量	24,984	18,018	16,843	16,692	13,635	11,345	11,024	10,373	10,144
(増減率 ^{※2})	-	(▲28%)	(▲33%)	(▲33%)	(▲45%)	(▲55%)	(▲56%)	(▲58%)	(▲59%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
参加企業数		173	177	165	156	155	140	129	120
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計									
(対全国比)									
関東地域 ^{※3}									
関西地域 ^{※4}									
中部地域 ^{※5}									

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%)＝
$$\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法 PRTR法の計算方法に準拠した。

■ 排出量の推計方法 PRTR法の計算方法に準拠した。

■ 参加企業数の増減理由 不明

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

対策

平成24年度に実施した具体的な排出抑制対策

排ガス燃焼処理装置の導入、管理強化他。

平成25年度以降に実施予定の排出抑制対策

平成24年度までの化学物質排出抑制対策を継続し、VOCの使用実態に即した技術的かつ経済的に最も適切な排出抑制を実施する。

管理強化、施設・設備・プロセスの改善による使用量の削減、その他

コスト

回収設備の導入と運転にともなうコスト増。

■ 自己評価

・ 業界の自主的取り組みにより、着実な削減対策が推進されている。

・ 取扱量が減少し、排出削減も推進され、排出量の削減率は、平成22年度実績比(55.9%)から3.5ポイント(59.4%) 改善された。

・ 成果は限定的であるが、平成24年度さらに費用投入のもと、回収処理設備の設置を図った。

○ その他

・ 会員企業は取引関係企業にも自主管理の実施等を周知し、削減に努めた。

・ また、今後も継続して自主管理活動を推進するよう情報提供に努める。

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名 6 日本塗料工業会
- 補足範囲
 - 業 種 塗料製造業
 - 加盟率 約91.1% (生産量ベース、実態調査)
 - 補足率 83% (生産量ベース、自主的集計)
- 主な排出源
 - 塗料製造 ・仕込み工程、混合工程、反応工程、ろ過工程、缶詰工程、洗浄工程 等

- 除外・すそ切りの考え方
 - 対象企業 会員企業中、塗料・シンナー製造企業を対象
 - 対象物質 トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ブチルアルコール、イソプロピルアルコール、酢酸エチル、メチルエチルケトン、メチルイソブチルケトン、その他

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}	922,720	801,200	765,597	762,080	744,168	733,573	690,486	701,574	720,680
排出量	3,947	3,061	2,907	2,939	2,812	2,408	2,318	2,255	2,161
(増減率 ^{※2})	-	(▲22%)	(▲26%)	(▲26%)	(▲29%)	(▲39%)	(▲41%)	(▲43%)	(▲45%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
参加企業数		77	78	73	74	76	76	76	76
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計	1,519	1,866	1,773	1,793	1,716	1,469	1,415	1,376	1,319
(対全国比)	(38%)	(61%)	(61%)	(61%)	(61%)	(61%)	(61%)	(61%)	(61%)
関東地域 ^{※3}	38	719	683	691	661	566	545	530	508
関西地域 ^{※4}	928	719	683	691	661	566	545	530	508
中部地域 ^{※5}	553	428	407	411	394	337	325	316	303

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%)＝ $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

- 使用量の推計方法 PRTR対象(トルエン、キシレン、エチルベンゼン)と塗料用溶剤5品目(ブタノール、イソプロピルアルコール、酢酸エチル、メチルエチルケトン、メチルイソブチルケトン) の8品目で塗料配合溶剤の51.9%(H24年度)を占めるため8品目の使用量から算出。
- 排出量の推計方法 PRTR対象(トルエン、キシレン、エチルベンゼン)と塗料用溶剤5品目(ブタノール、イソプロピルアルコール、酢酸エチル、メチルエチルケトン、メチルイソブチルケトン) の8品目で塗料配合溶剤の51.9%(H24年度)を占めるため8品目の大気放出量から算出。
- 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

- ・設備密閉度の向上
- ・洗浄溶剤の減量や再生利用及び洗浄時間の短縮
- ・代替物質への転換
- ・環境対応製品への置き換え
- ・吸着設備の設置

■ 自己評価

- (1) 塗料製造事業所・工場からのVOCの排出状況は、平成23年度の2,255トンから平成24年度は2,161トンとなり、減少している。排出量の減少割合は、平成12年度に対して45%減である。
- (2) 溶剤使用量は平成23年度比2.7%増であるにも拘らず、大気排出量は4.2%減となっている。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名 7 日本自動車部品工業会
- 補足範囲
- 業 種 輸送用機械器具製造業
 - 加盟率 約63% (出荷額から推計)
 - 補足率 同上 (同上)
- 主な排出源
- 塗装
 - 接着
 - 洗浄
- 除外・すそ切りの考え方
- 対象企業 会員企業中、アンケート回答のあった企業を対象
 - 対象物質 全VOCを対象

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}	36,857	30,056	30,514	29,140	23,186	22,558	18,248	17,941	17,890
排出量	22,725	18,121	17,274	16,061	12,222	11,702	9,493	8,533	8,387
(増減率 ^{※2})	-	(▲20%)	(▲24%)	(▲29%)	(▲46%)	(▲49%)	(▲58%)	(▲62%)	(▲63%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
参加企業数	145	139	128	124	121	119	105	112	112
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計	9,642	8,317	7,876	7,341	5,436	4,666	3,812	3,493	4,027
(対全国比)	(42%)	(46%)	(46%)	(46%)	(44%)	(40%)	(40%)	(41%)	(48%)
関東地域 ^{※3}	2,120	2,017	1,912	1,722	1,399	1,273	1,253	955	880
関西地域 ^{※4}	121	92	60	68	9	6	28	25	35
中部地域 ^{※5}	7,401	6,208	5,904	5,551	4,028	3,387	2,531	2,513	3,112

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

- 使用量の推計方法 PRTR届出制度の公開データの輸送用機械器具製造業で報告のあった全会員会社を対象に自主行動計画のフォローアップ調査を実施し、全対象会社の回答数量を集計している。
- 排出量の推計方法 PRTR届出制度の公開データの輸送用機械器具製造業で報告のあった全会員会社を対象に自主行動計画のフォローアップ調査を実施し、全対象会社の回答数量を集計している。
- 参加企業数の増減理由 昨年度と同数の参加企業数であった。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

- ・排ガス処理・回収装置の設置
 - ・代替物質に変更
 - ・設備・工程管理の適正化等
- <コスト>
- ・洗浄方法の変更 約1.2億円

■ 自己評価

2012年度は、自動車部品の生産額は前年度比3.8%増となった。目標である、平成22年度実績におけるVOC排出量の非悪化は達成された。塗装工程、洗浄工程におけるVOC排出削減対策は継続的に実施しており、VOC排出量の大幅減少に貢献したと考えられる。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名 8 日本自動車工業会
- 補足範囲
- 業 種 輸送用機械器具製造業
 - 加盟率 100% (輸送用機械器具製造業のうち自動車製造事業者の加盟率100%)
 - 補足率 100% (同上)
- 主な排出源
- 塗装 ・塗装ブース

- 除外・すそ切りの考え方
- 対象企業 会員企業14社＋会員企業のブランド製品を製造している事業所
 - 対象物質 塗料中のVOC(塗料全体－固形分)、溶剤

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}	72,685	58,664	60,178	58,919	56,541	37,633	37,167	36,231	33,752
排出量	52,685	41,199	40,976	39,295	32,218	26,273	25,623	24,921	24,224
(増減率 ^{※2})	-	(▲22%)	(▲22%)	(▲25%)	(▲39%)	(▲50%)	(▲51%)	(▲53%)	(▲54%)
原単位(g/m ²)	79.6	56.2	53.0	49.6	47.8	44.0	39.0	37.0	35.3
(増減率 ^{※2})	-	(▲29%)	(▲33%)	(▲38%)	(▲40%)	(▲45%)	(▲51%)	(▲54%)	(▲56%)
参加企業数	14	14	14	14	14	14	16	16	16

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法 VOC使用量(kg) = 塗料の使用量 × (1 - 塗料の固形分比率)

■ 排出量の推計方法 $\text{VOC排出量(kg)} = \text{VOC使用量} \times (\text{1 - 塗料の乾燥炉への持込率}) + \text{VOC使用量} \times \text{塗料の乾燥炉への持込率} \times (\text{1 - 乾燥炉のVOC除去率})$

■ 参加企業数の増減理由 平成27年度目標値を設定するにあたり、非自工会会員だが会員ブランドの製品を製造している事業所で、車工会にも属していない事業所を追加した。
そのため、基準年とした平成22年度より参加企業が14→16に増えた。それに伴い、2010年度の実績も修正した。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

排出抑制 技術名	塗装技術の概要	排出抑制 物質名	年間削減量 (トン)
①塗着効率向上			
-1 静電ガン	・バンパー塗装静電化・ロボット追加	トルエン, キシレン等	82.0
-2 メタリックペル塗装	・塗装条件及びハンガー構造の見直し		3.0
-3 ロボット塗装化	・ロボット化によるオーバースプレー低減 ・プライマロボット更新による ①塗装ガン→ワーク距離短縮 ②塗料ON/OFF精度向上による塗料使用 量低減		17.5
-3 ロボット動作改善	・塗装ロボット動作の効率化		26.1
②洗浄シンナー対策			
-1 使用量低減	・塗装ガン、クリヤ2液混合装置等の洗浄頻 度及びメンテナンス方法見直し ・ロボットガン→CCV 距離短縮による廃棄量 低減	トルエン, キシレン等	124.3
-2 回収	・回収装置5Sによる回収効率改善 ・設備洗浄シンナーの回収徹底		61.0
③カートリッジタイプ塗料の採用			0.0
④ハインソリッド塗料の採用	・高隠蔽塗料の採用		0.8
⑤水系塗料の採用			0.0
⑤その他	・塗装プログラム最適化によるロス低減 ・ムダ取り、色ロット生産による使用量低減 ・塗料使用量低減などの地道な低減活動		927.0

- 自己評価
- ・平成24年度原単位は35.3g/m2と対前年▲1.7g改善。
 - ・排出量も生産台数、塗装面積が増加しているにも関わらず、対前年▲2.5千tと各社の取り組み効果が表れている。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名 9 線材製品協会
- 補足範囲
- 業 種 伸線業
 - 加盟率 92% (伸線業のうち線材製品製造事業者の加盟率、生産量ベース、経済産業省鉄鋼統計)
 - 補足率 同上 (同上)
- 主な排出源
- 洗浄 ・ステンレス鋼線の製造工程((潤滑剤の造膜、洗浄)
 - 塗装 ・カラー釘の塗装工程
- 除外・すそ切りの考え方
- 対象企業 会員企業中、VOCを物質当たり1トン以上排出している企業を対象
 - 対象物質 PRTR対象6物質、PRTR対象外4物質(キシレン、ジクロロメタン、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、1,3,5-トリメチルベンゼン、トルエン、酢酸エチル、メチルエチルケトン、イソプロピルアルコール、アセトン)

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}									
排出量	1,290	894	726	509	371	254	291	241	238
(増減率 ^{※2})	-	(▲31%)	(▲44%)	(▲61%)	(▲71%)	(▲80%)	(▲77%)	(▲81%)	(▲82%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
参加企業数	16	16	16	16	16	16	16	16	9
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計	942	784	647	454	325	217	258	214	212
(対全国比)	(73%)	(88%)	(89%)	(89%)	(88%)	(85%)	(89%)	(89%)	(89%)
関東地域 ^{※3}	65	30	4	5	6	2	2	4	4
関西地域 ^{※4}	796	739	643	449	319	215	256	210	209
中部地域 ^{※5}	81	15	0	0	0	0	0	0	0

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%)＝
$$\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

- 使用量の推計方法
- ①年間使用量全量(全量蒸発)
 - ②年間購入量

- 排出量の推計方法
- ①年間使用量全量(全量蒸発)
 - ②年間購入量 - 再生引取量
 - ③年間購入量 - 廃液量

- 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

- ・回収装置
- ・代替剤の使用
- ・管理強化

■ 自己評価

- ・H24年度は、基準となる12年度に対して▲82%の削減。前年度から▲1.2ポイント削減。
- ・取組方向性(H30年度において、H22年度排出量を超過しない)に向けて、引き続きVOC削減施策を継続する。
- ・なお、自主取組対象企業数については、その定義から再評価・整理を行い、今年度VOC排出実績のある9社とした。
(当初は16社であったが、7社については既にVOC排出実績はないため、対象企業から除外した。)

○ その他

- ・VOC回収装置 計5台が稼働。回収率は良く、引き続き同装置稼働による削減を継続。
- ・VOCフリー溶剤を既存機械にも適用できるよう開発を行い、H25年度から1ラインに導入する計画あり。今後更に展開する予定。
- ・VOC溶剤の代替品への切り替えに向けて設備改善を進めていく。
- ・引き続き作業員への啓蒙を促し、排出量抑制の一助となる作業手順書の遵守を徹底する。

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名 10 日本伸銅協会
- 補足範囲
- 業 種 非鉄金属製造業
 - 加盟率 100% (非鉄金属製造業のうち伸銅品製造事業者の加盟率100%)
 - 補足率 47% (業界団体内捕捉率、生産量ベース)
- 主な排出源
- 洗浄 ・伸銅品の仕上工程

- 除外・すそ切りの考え方
- 対象企業 会員企業中アンケート回答のあった企業を対象
 - 対象物質 排出量合計の9割以上を占める7物質を対象(キシレン、トルエン、ジクロロメタン、1,3,5トリメチルベンゼン、エチレングリコール、エチルベンゼン、ベンゼン)

- 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}									
排出量	436	184	175	159	110	89	88	83	82
(増減率 ^{※2})	-	(▲58%)	(▲60%)	(▲64%)	(▲75%)	(▲80%)	(▲80%)	(▲81%)	(▲81%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
参加企業数								6	6
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計	178	12	7	10	5	4	3	4	4
(対全国比)	(41%)	(7%)	(4%)	(6%)	(5%)	(4%)	(3%)	(5%)	(5%)
関東地域 ^{※3}	1	1	1	1	0	0	0	0	0
関西地域 ^{※4}	17	3	1	3	2	1	1	4	3
中部地域 ^{※5}	161	9	6	6	3	3	1	0	0

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

- ・代替薬品に切り替え
- ・VOC排出設備の撤去(投資600万円)

■ 自己評価

全体として5年後に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでおり、平成24年度も取組みの成果は出ている。必要に応じて、VOCの排出抑制に繋がる生産や作業方法を導入し、代替品への切り替えを推進している。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名 11 全国鍍金工業組合連合会
- 補足範囲
- 業 種 金属製品製造業
 - 加盟率 約94% (従業員ベース92%、事業所数ベース96%)
 - 補足率 同上 (同上)
- 主な排出源
- 洗浄 ・被めつき物の前処理工程と仕上工程

- 除外・すそ切りの考え方
- 対象企業 有害大気汚染物質の自主管理における企業を対象
 - 対象物質 連合会で使用している2物質(トリクロロエチレン、ジクロロメタン)を対象

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}									
排出量	1,356	992	981	976	878	791	846	761	760
(増減率 ^{※2})	-	(▲27%)	(▲28%)	(▲28%)	(▲35%)	(▲42%)	(▲38%)	(▲44%)	(▲44%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
参加企業数								207	185
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計	959	776	757	720	581	510	530	474	475
(対全国比)	(71%)	(78%)	(77%)	(74%)	(66%)	(64%)	(63%)	(62%)	(63%)
関東地域 ^{※3}	548	502	494	464	371	353	367	326	326
関西地域 ^{※4}	274	213	204	200	160	112	109	102	103
中部地域 ^{※5}	137	61	59	56	50	45	54	46	46

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%)＝ $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

- 使用量の推計方法 施設に投入したVOCの合計量を集計
- 排出量の推計方法 使用量の合計から業者引き取り量の合計を差し引いた数量
- 参加企業数の増減理由 それまでに使用を中止した事業所をH23年度までは参加事業所数にカウントしていたが、H24年度はそれらの事業所や廃業した事業所を削除したため。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

H24年度もこれまでとられてきたものと同様な対策が取られている。主な例を下記に記載。

・設備対策

H24. 6 蒸留装置設置(100万円) 0. 5 t 削減

チラー更新(100万円)／休日夜間も冷却水循環 1. 8 t 削減

・代替品へ H24. 10 アルカリ脱脂へ変更 0. 5 t 削減 H24. 10中蓋設置／一部代替 1. 0 t 削減

・管理面

こまめなヒーターOFF & 蓋励行 0. 3 t 削減

使用回数 & 稼働時間制限 0. 7 t 削減

■ 自己評価

平成22年度の排出量は平成12年度比30%減の国の目標を達成(37. 6%減)したことを受けて、その後の取り組みの方向性としては、それまでに最小排出量となった平成21年度より悪化しないように取り組んでいくこととしている。

平成24年度はその目標を達成した。

○ その他

全国鍍金工業組合連合会では、平成7年度より洗浄分野で使用するトリクロロエチレン等の有機溶剤の大気排出削減の自主取り組みを継続している。平成7年度比の平成24年度の削減率は約63%であった。

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名 12 日本電線工業会
- 補足範囲
- 業 種 非鉄金属製造業
 - 加盟率 約78% (出荷額ベース)
 - 補足率 72% (同上)
- 主な排出源
- 塗装 ・巻線製造工程(絶縁エナメルワニスの溶剤)
 - 接着 ・光ファイバ製造工程
 - その他 ・銅荒引線製造工程(圧延時の被膜)
- 除外・すそ切りの考え方
- 対象企業 会員企業中、VOC使用実績のある企業を対象
 - 対象物質 PRTR対象92物質と非PRTR対象12物質を対象。ただし、使用量が月間100kg未満の物質は集計対象外

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}	10,434	7,398	7,809	7,620	6,062	5,067	5,549	5,565	6,201
排出量	1,439	1,013	1,046	949	822	660	707	631	575
(増減率 ^{※2})	-	(▲30%)	(▲27%)	(▲34%)	(▲43%)	(▲54%)	(▲51%)	(▲56%)	(▲60%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
参加企業数	121	121	121	121	121	121	121	121	121
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計	519	325	326	310	281	245	268	238	222
(対全国比)	(36%)	(32%)	(31%)	(33%)	(34%)	(37%)	(38%)	(38%)	(39%)
関東地域 ^{※3}	230	73	103	114	92	85	85	54	40
関西地域 ^{※4}	110	129	86	78	79	69	64	59	76
中部地域 ^{※5}	179	123	137	118	110	91	119	125	107

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

- 使用量の推計方法 VOC年度初在庫量 + VOC購入量 - VOC年度末在庫量 = VOC使用量
- 排出量の推計方法 VOC使用量 - 密閉式回収(活性炭等に吸着)ガス化による燃焼等 = VOC排出量
- 参加企業数の増減理由 参加企業の増減なし。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

これまで、非VOC製品への切り替えを実施している。ただし、効率の良い対策はほぼ実施済みで、更なるVOC排出量削減は、費用対効果が悪い現状である。今後は順次、VOC除去装置を導入し、排出量の削減に努める予定であり、また使用方法変更により使用量を減少させ、回収率アップで排出量削減に寄与する。
具体的な排出抑制対策としては、エタノールの高温酸化白金触媒方式を採用してVOC除去とイソプロピルアルコール(IPA)から発生するIPAガスの燃焼を抑制する設備の導入を行っております。

■ 自己評価

平成24年度は、メタル(銅・アルミ)電線の生産量は1,051千トンと前年度(23年度)比1.4%減で、光ファイバケーブルの生産量は42,864千kmで前年度(23年度)比9.1%増となった。平成23年度と比較して24年度のVOC使用量及びVOC排出量は、製造工程におけるエチレンベンゼンとフェノールが増加して、その他の物質は減少し、平成24年度の削減率は40.0%となった。

○ その他

なし。

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名

13 日本溶融亜鉛鍍金協会
- 補足範囲

■ 業 種

金属製品製造業

■ 加盟率

52%（企業数ベース）

■ 補足率

同上（同上）
- 主な排出源

■ 塗装

・仕上工程（不鍍金部分への補修等）
- 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

会員企業中、アンケート回答のあった企業を対象

■ 対象物質

PRTR対象物質に限定。排出量合計の9割以上を占める上位2物質（キシレン、トルエン）

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}									
排出量	101	99	97	86	72	66	67	70	54
(増減率 ^{※2})	-	(▲2%)	(▲4%)	(▲15%)	(▲29%)	(▲35%)	(▲34%)	(▲31%)	(▲47%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
参加企業数								80	80
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計	74	69	73	63	42	42	42	42	32
(対全国比)	(73%)	(70%)	(75%)	(73%)	(58%)	(64%)	(63%)	(60%)	(59%)
関東地域 ^{※3}	34	28	34	35	18	13	20	20	10
関西地域 ^{※4}	11	28	27	19	6	12	6	6	12
中部地域 ^{※5}	29	13	12	9	18	17	16	16	10

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%)＝ $\frac{(\text{当該年度の排出量}-12\text{年度の排出量})}{12\text{年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

- 使用量の推計方法
- 排出量の推計方法
- 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

- ・めっき品質の向上による補修材の使用量削減
- ・塗布率の向上(補修材をスプレー缶から刷毛塗りタイプに変更)

■ 自己評価

平成23年度以降は22年度より悪化させないことを目標に活動してきたが、24年度は23年度よりさらに削減が進んだ。各社がめっき作業改善による補修塗料使用料低減、ならびに対象物質含有量の少ないものへの切り替えを行った結果と評価する。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名

14 日本アルミニウム協会
- 補足範囲

■ 業 種

■ 加盟率

■ 補足率

非鉄金属製造業
約99%
約94%

(非鉄金属製造業のうちアルミニウム圧延、押し出し加工事業者の加盟率、生産量ベース、日本アルミニウム協会統計)
(協会会員企業の捕捉率、生産量ベース、日本アルミニウム協会統計)
- 主な排出源

■ 塗装

・洗淨

・印刷

・接着

・缶蓋用材、エアコンフィン、カラーアルミの塗装・焼付工程
・圧延コイル、押出材の脱脂・洗淨工程
・箔への印刷工程
・箔、各種フィルムとの接着工程
- 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

■ 対象物質

・圧延大手6社、箔圧延大手7社を対象
・建材押出大手5社は他団体の自主行動計画に参加。その他会員企業には呼びかけ中
非PRTR対象物質については不明なため、PRTR対象の7物質に限定(エチルベンゼン、キシレン、1-ジクロロ-1-フルオロエタン、ジクロロメタン、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、トルエン)

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}									
排出量	1,900	569	532	679	499	550	343	322	331
(増減率 ^{※2})	-	(▲70%)	(▲72%)	(▲64%)	(▲74%)	(▲71%)	(▲82%)	(▲83%)	(▲83%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
参加企業数								13	13
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計	160	108	100	233	71	84	10	11	15
(対全国比)	(8%)	(19%)	(19%)	(34%)	(14%)	(15%)	(3%)	(3%)	(5%)
関東地域 ^{※3}	160	108	100	233	71	84	10	11	15
関西地域 ^{※4}									
中部地域 ^{※5}									

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%)＝
$$\frac{(\text{当該年度の排出量}-12\text{年度の排出量})}{12\text{年度の排出量}} \times 100$$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

- 使用量の推計方法
- 排出量の推計方法
- 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

- ・工程内対策
- ・排ガス対策(エンドオブパイプ)
- ・その他

■ 自己評価

24年度は品種構成の変化により、23年度に比べ排出量が若干増加したが、22年度比で悪化しないとする目標は達成できた。

○ その他

- ・22年度、23年度の排出量は、集計上の誤りがあり訂正しました。(22年度:333→343トン 23年度:287→322トン)
- ・関東地域以外の対策地域については、特定の事業所の排出量が分かってしまう懸念があるため記載しない。

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名 15 日本建材・住宅設備産業協会
- 補足範囲
- 業 種 ①金属製品製造業、②パルプ・紙・紙加工品製造業、③窯業・土石製品製造業
 - 加盟率 ①85%(サッシ業界内)、②85%(繊維板・パーティクルボード製造業界内)、③100%(窯業系)
 - 補足率 サイディング、火山性ガラス、ロックウール保温材製造業界内)
約59% (平成12年度開始時:業界団体内の自主行動計画への参加率)
- 主な排出源
- 塗装 ・サッシの塗装工程、窯業外装材の塗装工程
 - 接着 ・繊維板、パーティクルボードの接着工程、ロックウール保温材のフォーミング工程、ドア等のラッピング接着工程
 - 洗浄 ・ウレタン注入機の洗浄
- 除外・すそ切りの考え方
- 対象企業 会員団体中、①VOCを排出していない、②他団体の自主行動計画に参加する、③自団体で実施する
とした企業・団体を除く5団体を対象
 - 対象物質 PRTR対象物質のうち排出量の割合の上位を占める物質を対象団体各々が選定した

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}	10,109	7,639	6,248	5,052	4,194	3,703	3,876	3,344	2,383
排出量	8,031	6,059	4,508	3,458	2,983	2,412	2,208	1,922	1,657
(増減率 ^{※2})	-	(▲25%)	(▲44%)	(▲57%)	(▲63%)	(▲70%)	(▲73%)	(▲76%)	(▲79%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
参加企業数								37	37
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計	3,682	3,283	3,274	2,343	2,179	1,747	1,586	1,252	980
(対全国比)	(46%)	(54%)	(73%)	(68%)	(73%)	(72%)	(72%)	(65%)	(59%)
関東地域 ^{※3}	1,069	695	1,997	1,308	1,296	1,151	1,181	811	547
関西地域 ^{※4}	194	197	126	111	281	114	125	144	165
中部地域 ^{※5}	2,419	2,391	1,151	924	602	482	280	297	268

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%)＝ $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法 VOC使用量は、各業界各社の購入実績や施設ごとの使用実績より算出した。

■ 排出量の推計方法 ・自主行動計画書参照

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

- ・排ガス除去設備
- ・水系塗料への代替
- ・洗浄剤の代替物質への切替え
- ・洗浄用溶剤の一部回収
- ・改良接着剤への代替
- ・作業方法の改善による使用量の削減

■ 自己評価

平成22年度において平成12年度比で排出量を60%削減目標に掲げ、73%削減で大幅に達成できた。今後は、全体として5年後に少なくとも平成22年度比で悪化しないよう取組む方向性を打ち出した。その中で平成24年度は更に排出量を削減することができ、これまで対策として実施してきた使用材料の切替や量削減が効を奏した結果である。

○ その他

- ・自主行動計画参画団体の加盟率が高く、業界全体として取り組んでいる。
- ・ホルムアルデヒド/4VOC自主表示制度を運営しており、VOC排出抑制意識が高い。

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名 16 天然ガス鉱業会
- 補足範囲
- 業 種 原油・天然ガス鉱業
 - 加盟率 90%以上（原油・天然ガス鉱業のうち天然ガス生産事業者の加盟率、天然ガス生産量ベース）
 - 補足率 ほぼ100%（国内天然ガス生産企業のうち、VOCを発生する企業のほぼ100%をカバー）
- 主な排出源
- 貯蔵
 - ・原油貯蔵タンク
 - ・グリコール再生装置
 - ・脱炭酸ガス装置
 - ・積み出し作業
 - ・工事等に伴う放散ガス
- 除外・すそ切りの考え方
- 対象企業 会員企業等5社を対象
 - 対象物質 メタンを除く全炭化水素

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}									
排出量	2,603	1,665	1,643	2,736	3,528	3,281	3,095	1,278	1,082
(増減率 ^{※2})	-	(▲36%)	(▲37%)	(+5%)	(+36%)	(+26%)	(+19%)	(▲51%)	(▲58%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
参加企業数								5	
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計									
(対全国比)									
関東地域 ^{※3}									
関西地域 ^{※4}									
中部地域 ^{※5}									

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%)＝ $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法 ・原油及び天然ガスの生産量に各々標準熱量を掛けて算出

■ 排出量の推計方法 ・自主行動計画書参照

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

- ・回収・除去装置の設置
- ・VOC除去装置の最適化
- ・浮き屋根式タンクの設置
- ・放散ガス量の削減
- ・その他

■ 自己評価

会員企業のVOC回収・除去装置は概ね配備が完了している。今後はこれらの対策設備の最適運転を継続し、引き続きVOC排出削減に努める。

○ その他

特記なし

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名

17 石油連盟
- 補足範囲

■ 業 種

石油製品製造業、石油販売業

■ 加盟率

100%（石油製品製造業、石油販売業のうち石油精製、石油販売（元売）事業者の加盟率）

■ 補足率

100%（会員企業の捕捉率）
- 主な排出源

■ 貯蔵

・石油タンク

・陸上出荷（タンクローリー、タンク車）

・海上出荷（船）

・対象石油製品等

・原油、ナフサ、ガソリン
- 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

17社（加盟会社11社。他に、非加盟会社及び加盟会社の関連会社6社が参加）を対象

■ 対象物質

炭化水素（排出量の算出方法については、「石油産業における炭化水素ベーパー防止トータルシステム研究調査報告書」（昭和50年3月、資源エネルギー庁）の排出量計算式を使用）

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}									
排出量	61,426	54,859	53,482	49,331	46,108	43,952	42,551	41,853	39,207
(増減率 ^{※2})	-	(▲11%)	(▲13%)	(▲20%)	(▲25%)	(▲28%)	(▲31%)	(▲32%)	(▲36%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
参加企業数	24	24	24	23	22	22	19	18	17
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計									
(対全国比)									
関東地域 ^{※3}									
関西地域 ^{※4}									
中部地域 ^{※5}									

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%)＝ $\frac{(\text{当該年度の排出量}-12\text{年度の排出量})}{12\text{年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法 (別紙)排出量の算出方法のとおり

■ 参加企業数の増減理由 石油精製業の廃業(1社)があったため、18社(平成23年度)から1社減の17社(平成24年度)となっている。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

- ・固定屋根式タンクの内部浮き屋根化
- ・出荷設備へのペーパー回収設備の設置

＜コスト＞

- ・試算では、VOC1トン削減するための費用として、貯蔵タンクでは20～30万円、陸上出荷設備では50～80万円、海上出荷では200～300万円が見込まれる

■ 自己評価

陸上出荷設備へのペーパー回収装置の設置、タンクの改造工事などの削減対策の実施、タンクの稼働休止による削減効果などにより、着実に排出量を削減し、平成22年度には基準年度（平成12年度）比30%の排出量削減とした目標を達成、平成24年度も引き続き排出量前年度比2,646t削減した。

○ その他

(別紙)

排出量の算出方法

「石油産業における炭化水素ペーパー防止トータルシステム研究調査報告書」
(昭和50年3月、資源エネルギー庁)の排出量計算式を使用して算出。

1. 固定屋根式タンクからの排出量

(1) 受入時(受入ロス)

- 排出係数 × 受入量
- 排出係数 (Kg/KL)

原油	0.52
ガソリン・ナフサ	1.00

(2) 貯蔵時(呼吸ロス)

- 排出係数 × (タンク容量)^{2/3}
- 排出係数 (Kg/KL)

原油	0.3054
ガソリン・ナフサ	0.7064

2. 浮き屋根式タンクからの排出量

(1) 払出時(払出ロス)

- 排出係数 / タンク直径 (m) × 払出量
- 排出係数 (Kg/KL)

原油	0.0141
ガソリン・ナフサ	0.0470

3. 出荷時の排出量

- 排出係数 × 出荷量
- 排出係数 (Kg/KL)

	船出荷	ローリー・タンク車
原油	0.12	-
ガソリン・ナフサ	0.19	0.89

以上

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名 18 日本化学工業協会
- 補足範囲
- 業 種 化学工業
 - 加盟率 不明 (加盟率に関しては化学工業に該当する企業数が把握出来ないため算定不可能。)
 - 補足率 73% (推計値)
- 主な排出源
- 化学製品製造 ・化学品製造工程

- 除外・すそ切りの考え方
- 対象企業 ・(一社)日本化学工業協会のPRTR調査に参加している約120社のうち削減計画を策定した68社
・ただし、排出量に関しては114社全体の排出量を集計
 - 対象物質 PRTR(328物質 農薬、殺虫剤除く)＋日化協独自(105物質)＋石油製品由来の鎖状炭化水素(炭素数が4～8までの鎖状炭化水素類(個別に調査している物質を除く)から無機化合物とダイオキシン類を除いた434物質)を集計

- 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}	82,280,000								64,513,303
排出量	88,809	50,690	49,432	46,817	37,306	34,654	32,662	29,862	30,822
(増減率 ^{※2})	-	(▲43%)	(▲44%)	(▲47%)	(▲58%)	(▲61%)	(▲63%)	(▲66%)	(▲65%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
参加企業数								68	68
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計	50,529	32,334	32,559	30,487	22,556	20,543	19,518	17,572	19,771
(対全国比)	(57%)	(64%)	(66%)	(65%)	(60%)	(59%)	(60%)	(59%)	(64%)
関東地域 ^{※3}	32,463	17,620	18,737	18,267	13,871	12,433	9,928	8,362	9,928
関西地域 ^{※4}	10,858	7,953	7,946	6,932	5,104	4,493	5,214	4,835	4,203
中部地域 ^{※5}	7,208	6,761	5,876	5,288	3,581	3,617	4,376	4,375	5,640

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%)＝ $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

- 使用量の推計方法
 - 対象物質:日化協433物質＋C4～C8の炭化水素類から無機化合物とDXNを除いた434物質を集計
 - 使用:製造量と使用量の合計(ただし、燃料として使用したものを含む)
 - 基準年度:炭化水素類についてはH12年データが未把握のためH16年度の値を加算した。
- 排出量の推計方法
 - 対象物質:日化協433物質＋C4～C8の炭化水素類から無機化合物とDXNを除いた434物質を集計
 - 排出量は大気排出量データの合計
 - 基準年度:炭化水素類についてはH12年データが未把握のためH16年度の値を加算した。
- 参加企業数の増減理由 当協会の会員登録、脱退、あるいは企業の合併等により企業数が多少変化します。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

・対策及びその効果、コストについては調査を行っていない。これらは個別企業のノウハウに関わる情報でもあり、現状では調査の実施の予定はない。ただし、増減の理由については簡易な調査を実施している。

■ 自己評価

VOCの増減理由について調査をしており、削減対策については引き続き継続実施されているが、VOC削減管理をより強化するため削減対象物質（主にC4～C8の直鎖の炭化水素類（PRTR対象外））を拡大している事業所がある。これら対象物質を拡大した結果、一時的に全体の排出量の増加が見られたが、今後は一層のVOC削減対策が講じられる見込みである。

当協会の自主行動においてはVOC削減対象をPRTR対象物質のみならず、上乗せで対象物質を示し削減を推進しており、その中の炭化水素類としてC4～C8までの鎖状炭化水素類を物質X-001として物質を幅広く定義し取り組みを拡大してきています。X001（日化協独自の対象物質）の排出状況は以下の通り。

H23年炭化水素類の排出量4162t→H24年排出量6428tに増加（PRTR対象外の物質として新規取り組み開始により増加）

○ その他

関東地域、関西地域、中部地域は以下の通りとして範囲を拡大してデータ集計

関東地区（茨城県、栃木県、群馬県、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）

関西地区（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県）、中部地区（岐阜県、愛知県、三重県）

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名 19 日本印刷産業連合会
- 補足範囲
- 業 種 印刷産業
 - 加盟率 約90% (出荷額ベース)
 - 補足率 約90% (同上)

- 主な排出源
- 印刷 ・印刷工程及び乾燥工程
 - 接着 ・ラミネート加工工程

- 除外・すそ切りの考え方
- 対象企業 日印産連傘下の会員企業のうちグラビア印刷(ラミネート、コーター含む)、オフセット印刷を業とする事業所を対象
 - 対象物質 トルエン、酢酸エチル、MEK、IPA、高沸点石油系溶剤を含めた全てのVOC物質を対象

- 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}	204,400	19,500	199,300	201,900	181,500	178,700	178,400	175,400	182,700
排出量	115,500	76,600	70,900	64,500	52,500	50,300	42,700	35,500	34,600
(増減率 ^{※2})	-	(▲34%)	(▲39%)	(▲44%)	(▲55%)	(▲56%)	(▲63%)	(▲69%)	(▲70%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
参加企業数							6,189	5,937	5,688
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計									
(対全国比)									
関東地域 ^{※3}									
関西地域 ^{※4}									
中部地域 ^{※5}									

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

- 使用量の推計方法 アンケート調査結果から従業員規模別に拡大推計

- 排出量の推計方法 アンケート調査結果から従業員規模別に拡大推計

- 参加企業数の増減理由 企業の統廃合等による。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

- ・VOC処理装置導入
- ・材料の代替化
- ・管理強化

■ 自己評価

目標を大きく達成している。

○ その他

特に有りません。

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名 20 ドラム缶工業会
- 補足範囲
- 業 種 金属製品製造業
 - 加盟率 100%
 - 補足率 100%
- 主な排出源
- 塗装 ・ドラム缶及び中小型缶の内面及び外面の塗装工程及び乾燥工程

- 除外・すそ切りの考え方
- 対象企業 中小型缶メーカー2社を含む200Lドラム缶メーカー11社を対象
 - 対象物質 「加熱残分」以外(水性塗料の場合は水の含有率を差し引き)を全てVOCとして積算した

- 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}									
排出量	1,763	1,818	1,874	1,965	1,617	1,575	1,592	1,570	1,598
(増減率 ^{※2})	-	(+3%)	(+6%)	(+11%)	(▲8%)	(▲11%)	(▲10%)	(▲11%)	(▲9%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
生産量補正			1,634.0	1,633.0	1,643.0				
(増減率 ^{※2})	-		-	-	-				
参加企業数	11	11	11	11	11	11	11	11	11
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計	1,430	1,481	1,533	1,621	1,314	1,299	1,289	1,286	1,300
(対全国比)	(81%)	(81%)	(82%)	(82%)	(81%)	(82%)	(81%)	(82%)	(81%)
関東地域 ^{※3}	843	923	976	985	856	851	833	810	826
関西地域 ^{※4}	587	558	557	636	458	448	456	476	474
中部地域 ^{※5}									

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

平成12年度を基準年度として、平成24年度の生産量も基準年度と同じと仮定してVOCの排出量を求めた。VOCの対象となる物質は無限にあり、塗料・溶剤類に含まれるVOC対象物質をすべて調べ上げることは、高度な専門知識が必要であり、かつ莫大な労力を要する。VOCの定義が大気中に揮発する有機化合物であることを考えると、個々の物質を特定して調べ上げることはあまり意味が無く、むしろJIS K 5601-1-2(塗料成分試験方法—第1部:通則、第2節:加熱成分)で規定されている方法で測定した「加熱残分」以外をすべてVOC成分と考え、これからVOC排出量を計算した方が、簡便でかつより正確と考えた。

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

- ・塗料、溶剤原単位の削減
- ・外装塗装設備改善
- ・塗装装置更新
- ・製品品種・色の集約
- ・塗料の改良
- ・洗浄用溶剤の削減

■ 自己評価

平成12年度レベルから着実な削減を実施している。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名 21 軽金属製品協会
- 補足範囲
- 業 種 金属製品製造業
 - 加盟率 56% (企業数ベース)
 - 補足率 約40% (VOC使用量ベース)、約90%(他団体で報告している大手4社分を除いた場合の捕捉率)
- 主な排出源
- 塗装 ・アルミ建材の塗装工程
- 除外・すそ切りの考え方
- 対象企業 ・会員5社、会員外4社のうち、アルミニウム建材塗装の受注加工事業者(会員1社、会員外3社)を対象
 - 対象物質 PRTR対象物質のキシレン、トルエン、エチルベンゼンを対象とした(12年度VOC排出量の約8割程度(推定)をカバー)

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}	394	380	344	218	264	173	142	174	196
排出量	349	312	249	135	206	124	97	137	148
(増減率 ^{※2})	-	(▲11%)	(▲29%)	(▲61%)	(▲41%)	(▲64%)	(▲72%)	(▲61%)	(▲58%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
参加企業数	4	4	4	4	4	4	4	4	4
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計									
(対全国比)									
関東地域 ^{※3}									
関西地域 ^{※4}									
中部地域 ^{※5}									

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%)＝
$$\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法 各社の購入実績、施設ごとの使用実績により算出した。

■ 排出量の推計方法 大気排出量＝〔使用量〕－〔水域への排出量〕－〔廃棄物に含まれる移動量〕－〔製品としての搬出量〕

※水域への排出と製品への含有は微量なので、ほとんどの場合無視できる。

廃棄物への含有率は、分析、自社測定あるいは資材メーカーからの情報で係数を決めている。

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

- ・塗装設備、塗装条件の見直し
- ・塗装設備更新による塗着効率の向上
- ・VOCを使用しない粉体塗装の受注拡大(エンドユーザーへのPR)

■ 自己評価

当該業種は建設業界の景況に左右され、最近の2年で使用量、排出量とも増加傾向にあるが、現在ゼネコン、施主などユーザーと一緒にVOCを含まない「粉体塗装」の普及のための取り組みを行っており、徐々にではあるが「粉体塗装」を採用した建築物件が出てきている。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名

22 日本プラスチック工業連盟
- 補足範囲

■ 業 種

プラスチック製品製造業

■ 加盟率

不明

■ 補足率

約10.7%（主要物質のPRTR業種別データとの比較ベース）
- 主な排出源

■ 成形・加工

プラスチック成形・加工工程（加工工程にはラミネート、印刷、コーティング、粘着剤塗布等を含む）
- 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

工業連盟会員中、プラスチック加工業界団体4団体を対象、平成24年度は前年度と比較して参加企業が35社から32社に減少

■ 対象物質

年間使用量1トン以上の全VOCを対象

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}									
排出量	14,991	20,193	16,113	15,893	12,338	11,354	6,623	6,294	4,760
(増減率 ^{※2})	-	(+35%)	(+7%)	(+6%)	(▲18%)	(▲24%)	(▲56%)	(▲58%)	(▲68%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
参加企業数								35	32
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計	5,696	7,279	5,540	4,747	4,693	4,366	2,292	1,957	988
(対全国比)	(38%)	(36%)	(34%)	(30%)	(38%)	(38%)	(35%)	(31%)	(21%)
関東地域 ^{※3}	3,398	4,181	3,454	2,916	3,173	2,931	1,300	1,039	350
関西地域 ^{※4}	856	1,062	550	487	435	518	134	301	118
中部地域 ^{※5}	1,442	2,036	1,536	1,343	1,085	917	858	617	520

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%)＝ $\frac{(\text{当該年度の排出量}-12\text{年度の排出量})}{12\text{年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

- 使用量の推計方法

購入量及び在庫量等から算出
- 排出量の推計方法

使用量及び製造ロス量、排出濃度値等から算出
- 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

- ・系を密閉化する
- ・該当物質用量を削減する
- ・反応率、回収率の向上を図る
- ・除去設備(既設および新設)を利用する
- ・その他(印刷を廃止する)

<コスト(平成20年度実績報告時点)>

- ・(実施済) 906百万円
- ・(計画)1,494百万円

■ 自己評価

平成24年度のVOC排出削減率は平成12年度比で68%であり、平成22年度目標であった4割削減を維持継続している。

平成24年度以降実施および予定の対策は、

- 1) VOC排出抑制に繋がる「生産・作業方法の導入」
- 2) 生産(加工)プロセスの見直し(最適化)、作業の合理化を通じたVOC排出抑制の推進
- 3) VOC排出抑制対策を目的に設置した設備・機器の運転・維持管理の強化であり種々の対策実施結果がVOC削減に寄与したと考える。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名 23 日本オフィス家具協会
- 補足範囲
- 業 種 金属製家具製造業
 - 加盟率 51% (製造品出荷額ベース)
 - 補足率 32% (同上)
- 主な排出源
- 塗装
 - 接着

- 除外・すそ切りの考え方
- 対象企業 会員であって、製造業を営む企業を対象(61社)。参加は23社
 - 対象物質 PRTR対象41物質及びPRTR対象外16物質を対象。ただし、年間排出量が1トン未満の物質は集計対象外。

- 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}									933
排出量	1,977	1,235	1,205	1,100	918	700	680	663	689
(増減率 ^{※2})	-	(▲38%)	(▲39%)	(▲44%)	(▲54%)	(▲65%)	(▲66%)	(▲66%)	(▲65%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
全社推計	3,153.0	2,428.0	2,301.0	2,270.0	2,207.0	2,112.0	2,049.0	2,180.0	2,108.0
(増減率 ^{※2})	-	(▲23%)	(▲27%)	(▲28%)	(▲30%)	(▲33%)	(▲35%)	(▲31%)	(▲33%)
参加企業数								23	23
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計	875	516	502	448	369	290	260	268	185
(対全国比)	(44%)	(42%)	(42%)	(41%)	(40%)	(41%)	(38%)	(40%)	(27%)
関東地域 ^{※3}	346	247	263	224	205	145	140	116	51
関西地域 ^{※4}	98	54	59	63	49	38	21	51	26
中部地域 ^{※5}	431	215	180	161	115	107	99	101	108

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法 購入量 - 在庫量 = 使用量(含有量はMSDSによる)

■ 排出量の推計方法 使用量に排出係数を乗じて算出した。
(使用量を排出先・移動先への分配係数を決め使用量を乗することにより排出量を算出)

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

- ・塗装効率の向上
- ・塗装機器の更新
- ・粉体塗装設備の設置
- ・VOC抑制タイプの塗料、接着剤への切り替え

■ 自己評価

塗装設備を粉体塗装に移行する企業が増加する中で、溶剤塗料や接着剤についてもトルエンやキシレンの含有が少ないものに切り替える方向で、VOCの排出抑制については、業界として定着してきており、今後もこの流れは維持する見込み。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名 24 日本表面処理機材工業会
- 補足範囲
- 業 種 化学工業
 - 加盟率 95% (企業数ベース)
 - 補足率 95% (同上)
- 主な排出源
- 化学製品製造 ・表面処理薬剤製造工程

- 除外・すそ切りの考え方
- 対象企業 会員企業中、1トン以上VOCを使用している企業を対象
 - 対象物質 ホルムアルデヒド、メチルアルコール、イソプロピルアルコール

- 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}									
排出量	1	1	1	1	0	0	0	0	0
(増減率 ^{※2})	-	(+44%)	(+34%)	(+55%)	(▲44%)	(▲45%)	(▲43%)	(▲68%)	(▲54%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
参加企業数								26	26
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計	1	1	1	1	0	0	0	0	0
(対全国比)	(100%)	(100%)	(100%)	(99%)	(100%)	(100%)	(100%)	(96%)	(100%)
関東地域 ^{※3}	0	0	0	0	0	0	0	0	0
関西地域 ^{※4}	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中部地域 ^{※5}	1	1	1	1	0	0	0	0	0

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

- ・製造工程の見直し
- ・施設・設備等の向上
- ・代替物質の検討

■ 自己評価

製造工程において、局地排気の導入や環境測定の実施等の対策を実施。現状の排出については、最小限に抑制実施しているが、含有製品の生産増減に伴いトータルの排出量は増減する傾向にある。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名 25 日本自動車車体工業会
- 補足範囲
- 業 種 輸送用機械器具製造業
 - 加盟率 約95% (売上高推定値)
 - 補足率 93%以上
- 主な排出源
- 塗装

- 除外・すそ切りの考え方
- 対象企業 会員企業中、VOCを使用している企業を対象
 - 対象物質 全VOCを対象

- 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量※1	29,500	28,920	28,150	27,983	23,554	18,611	18,138	17,714	18,322
排出量	20,300	19,060	18,060	18,003	14,026	11,666	11,148	11,129	11,740
(増減率※2)	-	(▲6%)	(▲11%)	(▲11%)	(▲31%)	(▲43%)	(▲45%)	(▲45%)	(▲42%)
うち法規制対象施設	・法規制対象施設からの排出量については、算出方法検討中のため今年度は報告できません								
(増減率※2)									
原単位(g/m ²)	103.2	72.8	62.9	59.2	57.2	51.4	50.0	44.7	43.2
(増減率※2)	-	(▲29%)	(▲39%)	(▲43%)	(▲45%)	(▲50%)	(▲52%)	(▲57%)	(▲58%)
参加企業数		169	166	164	160	164	167	170	183
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計	11,570	11,126	10,241	9,937	8,650	7,070	6,592	6,146	6,045
(対全国比)	(57%)	(58%)	(57%)	(55%)	(62%)	(61%)	(59%)	(55%)	(51%)
関東地域※3	2,728	3,311	2,856	2,787	2,422	1,803	1,450	909	783
関西地域※4	946	74	61	75	64	94	99	105	102
中部地域※5	7,896	7,741	7,324	7,075	6,164	5,173	5,043	5,132	5,160

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%)＝ $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

- 使用量の推計方法 大手および各製品分野を代表する16社(売上高カバー率:93.7%)のデータを基に推定し算出

- 排出量の推計方法

- 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

- ・塗着効率向上(ロボット塗装化)
- ・洗浄シンナー対策
(・使用量低減及び回収率向上・色替洗浄シンナー低減など)
- ・水系塗料の採用
(・メタリック系の水性化・生産工順変更に伴う水性化へのシフト)

■ 自己評価

- ・溶剤系塗装ラインから、水系塗装ラインへ生産シフトし水系塗装工法の拡大展開を実施。
又、日常活動として地道な改善活動の積み上げなどで削減を進めている。
その結果として、原単位目標を達成している。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名 26 日本接着剤工業会
- 補足範囲
- 業 種 接着剤製造業
 - 加盟率 約68% (企業数ベース)
 - 補足率 67% (同上)
- 主な排出源
- 接着剤製造
 - ・混合行程
 - ・攪拌貯蔵行程
 - ・ろ過行程
 - ・充填行程
 - ・洗浄工程 等
- 除外・すそ切りの考え方
- 対象企業 会員企業中、接着剤製造企業を対象
 - 対象物質 工業会において、主に使用している9物質を対象

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}									
排出量	598	470	487	422	362	337	318	323	331
(増減率 ^{※2})	-	(▲21%)	(▲19%)	(▲29%)	(▲39%)	(▲44%)	(▲47%)	(▲46%)	(▲45%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
参加企業数		85	84	85	85	85	85	85	85
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計	240	168	212	158	112	115	109	144	149
(対全国比)	(40%)	(36%)	(44%)	(37%)	(31%)	(34%)	(34%)	(45%)	(45%)
関東地域 ^{※3}	93	61	66	64	47	37	42	48	52
関西地域 ^{※4}	71	35	34	35	43	35	26	50	50
中部地域 ^{※5}	76	72	112	59	22	43	41	46	47

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%)＝
$$\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

- 使用量の推計方法 会員アンケートによる。
- 排出量の推計方法 使用量×0.0105(会員に対する排出率調査結果による)
- 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

- ・水性形、無溶剤形、高固形分型接着剤への置き換え
- ・設備密閉度の向上 ・4VOC自主管理制度を推進

■ 自己評価

平成24年度の排出量は、平成22年度比で増加となったが、この要因は接着剤生産量の増加(回復)によることが大きいと思われる。溶剤形接着剤の低溶剤形への移行、水性形への置き換え及び4VOC基準適合製品自主管理制度を的確に推進しているので、5年後には平成22年度比で悪化しないものと考えている。

○ その他

2. 対策地域における各地区の排出量

単位：トン 0.0105

		基準年度 平成 12年	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	最終目標 平成 22年度
関東地区	使用量	8,866	5,822	6,317	6135	4,499	3,568	4,019	4,590	4,916	6,202
	排出量	93	61	66	64	47	37	42	48	52	65
関西地区	使用量	6,741	3,295	3,253	2805	4,107	3,351	2,522	4,730	4,800	4,719
	排出量	71	35	34	35	43	35	26	50	50	50
中部地区	使用量	7,220	6,845	10,686	5,604	2,084	4,068	3,908	4,342	4,487	5,054
	排出量	76	72	112	59	22	43	41	46	47	53

22827

240

		12年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	22年度
全国	使用量	56,951	44,768	46,350	40,167	34,497	32,104	30,276	29,747	31,571	39,866
	排出量	598	470	487	422	362	337	318	312	331	419
排出量の削減率 (%)			21.4	18.6	29.5	39.4	43.6	46.8	47.8	44.6	30

	12年		15年度		16年度		17年度		18年度		19年度		20年度		21年度		22年度	
	数量	%	数量	%	数量	%	数量	%	数量	%	数量	%	数量	%	数量	%	数量	%
関東	93	15.6	75	15.2	62	12.8	61	13.0	66	13.6	64	15.2	47	13.0	37	11.1	42	13.2
関西	71	11.9	44	8.9	38	7.9	35	7.4	34	7.0	35	8.3	43	11.9	35	10.4	26	8.2
中部	76	12.7	70	14.2	72	14.9	72	15.3	112	23.0	59	14.0	22	6.1	43	12.7	41	12.9
計	240	40.1	189	38.3	172	35.5	168	35.7	212	43.6	158	37.5	112	30.9	115	34.2	109	34.3
全国	598	100	494	100	484	100	470	100	487	100	422	100	362	100	337	100	318	100

	23年		24年	
	数量	%	数量	%
関東	48	15.4	52	15.7
関西	50	16.0	50	15.1
中部	46	14.7	47	14.2
計	144	46.1	149	45.0
全国	312	100	331	100

VOC排出削減自主活動

溶剤使用量24年分報告

1. 全国における排出量

VOC合計		12年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終目標 22年度
全国	使用量	56,951	44,768	46,350	40,167	34,497	32,104	30,276	29,747	31,571	39,866
	排出量	598	470	487	422	362	337	318	312	331	419
	排出量の削減率(%)		21.4	18.6	29.5	39.4	43.6	46.8	47.8	44.6	30
	排出量の目標達成率(%)		71	62	98	131	145	156	169	149	100
	参加事業者数(社)		85	84	85	85	85	85	85	85	85

0.0105

	n-ヘキサン	シクロヘキサン	トルエン	キシレン	メタノール	酢酸エチル	アセトン	MEK	ゴム揮発油	合計	削減率(%)
平成12年	4,308	1,241	16,271	2,277	10,686	10,003	3,953	4,415	3,798	56,951	0.0
平成17年	2,757	3,087	9,522	1,993	8,760	9,921	3,878	3,439	1,411	44,768	21.4
平成18年	3,028	2,936	9,428	2,187	9,675	10,288	3,433	4,429	945	46,350	18.6
平成19年	2,650	2,963	8,442	2,232	7,944	9,017	2,806	3,286	811	40,152	29.5
平成20年	2,133	2,468	8,182	1,900	2,997	10,559	2,446	3,128	684	34,497	39.4
平成21年	1,711	2,214	7,212	1,175	5,281	8,687	2,252	2,984	587	32,104	43.6
平成22年	1,813	2,411	6,536	1,598	5,655	6,167	2,388	2,946	761	30,276	46.8
平成23年	1,344	2,286	7,436	667	5,119	6,791	2,251	3,188	665	29,747	47.8
平成24年	1,388	2,427	7,641	1,611	5,308	6,791	2,286	3,528	591	31,571	44.6

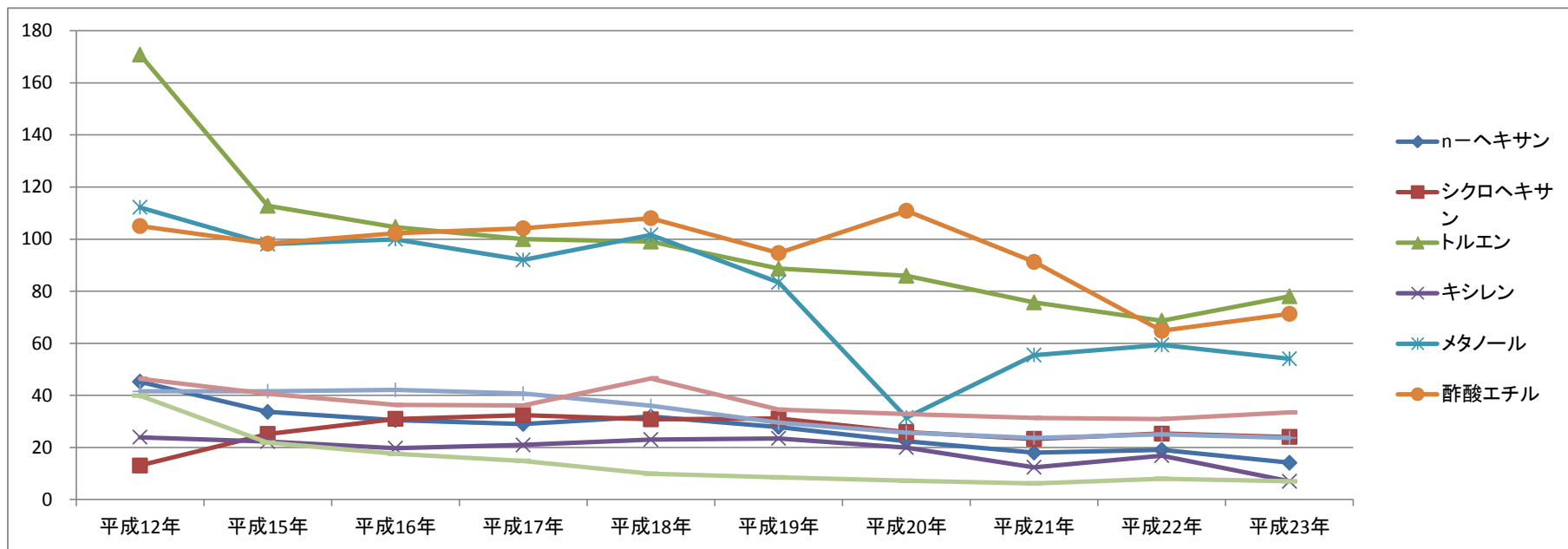
排出量(0.0105)

	n-ヘキサン	シクロヘキサン	トルエン	キシレン	メタノール	酢酸エチル	アセトン	MEK	ゴム揮発油	合計	削減率(%)
平成12年	45	13	171	24	112	105	42	46	40	598	0.0
平成17年	29	32	100	21	92	104	41	36	15	470	21.4
平成18年	32	31	99	23	102	108	36	47	10	487	18.6
平成19年	28	31	89	23	83	95	29	34	9	422	29.5
平成20年	22	26	86	20	31	111	26	33	7	362	39.4
平成21年	18	23	76	12	55	91	24	31	6	337	43.6
平成22年	19	25	69	17	59	65	25	31	8	318	46.8
平成23年	14	24	78	7	54	71	24	33	7	312	47.8
平成24年	15	25	80	17	56	71	24	37	6	331	44.6

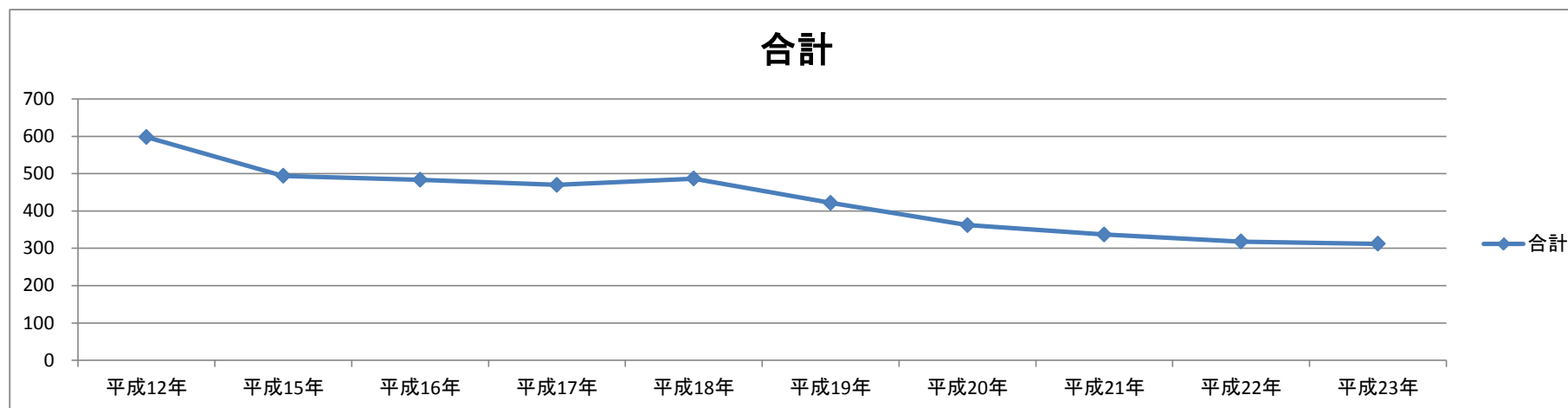
溶剤別使用量推移 9物質以外を足した場合

溶剤別使用量推移	9物質											9物質以外を加算		
	n-ヘキサン	シクロヘキサン	トルエン	キシレン	メタノール	酢酸エチル	アセトン	MEK	ゴム揮発油	合計A	削減率(%)	9物質以外B	A+B	削減率
平成12年	4,308	1,241	16,271	2,277	10,686	10,003	3,953	4,415	3,798	56,951	0.0	11,076	68,027	0.0
平成17年	2,757	3,087	9,522	1,993	8,760	9,921	3,878	3,439	1,411	44,768	21.4	10,273	55,041	19.1
平成18年	3,028	2,936	9,428	2,187	9,675	10,288	3,433	4,429	945	46,350	18.6	10,119	56,469	17.0
平成19年	2,650	2,963	8,442	2,232	7,944	9,017	2,806	3,286	811	40,152	29.5	9,968	50,120	26.3
平成20年	2,133	2,468	8,182	1,900	2,997	10,559	2,446	3,128	684	34,497	39.4	9,819	44,316	34.9
平成21年	1,711	2,214	7,212	1,175	5,281	8,687	2,252	2,984	587	32,104	43.6	8,162	40,266	40.8
平成22年	1,813	2,411	6,536	1,598	5,655	6,167	2,388	2,946	761	30,276	46.8	8,732	39,009	42.7
平成23年	1,344	2,286	7,436	667	5,119	6,791	2,251	3,188	665	29,747	47.8	8,932	38,679	43.1
平成24年	1,388	2,427	7,641	1,611	5,308	6,791	2,286	3,528	591	31,571	44.6	9,690	41,261	39.3

種類別排出量推移



合計



排出量

	n-ヘキサ	シクロヘキサ	トルエン	キシレン	メタノール	酢酸エチル	アセトン	MEK	ゴム揮発油	合計
平成12年	45	13	171	24	112	105	42	46	40	598
平成15年	34	25	113	22	98	98	42	41	22	494
平成16年	31	31	105	20	100	102	42	36	18	484
平成17年	29	32	100	21	92	104	41	36	15	470
平成18年	32	31	99	23	102	108	36	47	10	487
平成19年	28	31	89	23	83	95	29	34	9	422
平成20年	22	26	86	20	31	111	26	33	7	362
平成21年	18	23	76	12	55	91	24	31	6	337
平成22年	19	25	69	17	59	65	25	31	8	318
平成23年	14	24	78	7	54	71	24	33	7	312

排出量

	合計
平成12年	598
平成15年	494
平成16年	484
平成17年	470
平成18年	487
平成19年	422
平成20年	362
平成21年	337
平成22年	318
平成23年	312

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名 28 (社)プレハブ建築協会
- 補足範囲
- 業 種 その他の製造業
 - 加盟率 50% 業界全体20社中計画参加10社
 - 補足率 98% (業界全体市場規模136,731戸中133,512戸供給)
- 主な排出源
- 塗装 ・外壁塗装、鉄骨塗装、鉄骨等塗装・電着、 など
 - 接着 ・構造用パネル製造など
- 除外・すそ切りの考え方
- 対象企業 「一般社団法人プレハブ建築協会環境行動計画エコアクション2020」に参加する10社
 - 対象物質 環境省が示す主なVOC物質100種のうち、PRTR法第一種指定化学物質に指定された46物質

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}									
排出量	1,675	993	899	629	542	531	604	556	512
(増減率 ^{※2})	-	(▲41%)	(▲46%)	(▲62%)	(▲68%)	(▲68%)	(▲64%)	(▲67%)	(▲69%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
参加企業数								10	10
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計									
(対全国比)									
関東地域 ^{※3}									
関西地域 ^{※4}									
中部地域 ^{※5}									

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

PRTR法施行規則に規定する排出量の算出方法等を用い、対象VOC物質を排出する全ての施設及び工程を対象とする

※工場内の作業車用の燃料等におけるVOC物質は排出量が少ないため、対象としない。

※個別の住宅建設・施工現場は対象としない。

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

塗料の弱溶剤化、代替塗料の投入により、トルエンは前年比12.7%の削減、キシレンは前年比10.4%の削減となった。

■ 自己評価

2000年比70%削減という目標に対して、69%削減と目標に迫る結果となり、順調に対策が進んでいる

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名

29 印刷インキ工業連合会
- 補足範囲

■ 業 種

印刷インキ製造業

■ 加盟率

約90%超 (生産量ベース(化学工業統計及び内部調査等より算出))

■ 補足率

同上 (同上)
- 主な排出源

■ インキ製造

・原材料の保管時

・印刷インキの仕掛品・製品の製造時
- 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

会員企業を対象

■ 対象物質

使用量の多い16物質が対象(16物質で総排出量の98.2%をカバー)

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}									
排出量	423	313	334	269	299	281	283	205	239
(増減率 ^{※2})	-	(▲26%)	(▲21%)	(▲36%)	(▲29%)	(▲34%)	(▲33%)	(▲52%)	(▲43%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
参加企業数				46	36	34	37	37	40
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計									
(対全国比)									
関東地域 ^{※3}									
関西地域 ^{※4}									
中部地域 ^{※5}									

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%)＝ $\frac{(\text{当該年度の排出量}-12\text{年度の排出量})}{12\text{年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

- 使用量の推計方法

印刷インキ工業連合会で実施している「化学物質の取扱量調査」により、使用量の多い16物質の合計。
16物質で、全使用量の98.1%を占める。
- 排出量の推計方法

印刷インキ工業連合会で設定したPRTR排出配分率算出方法もしくは、各社で独自に設定した排出配分率による。
使用量の多い16物質について集計。
- 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

- ・燃焼式処理
- ・施設・設備の密閉化
- ・吸着式処理

■ 自己評価

トルエンの代替は順調に進んでいる。全体の削減率は、平成24年は、平成22年比15.5%であり、少なくとも5年は平成22年比で悪化しないように対応していく。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名 30 日本工業塗装協同組合連合会
- 補足範囲
- 業 種 金属製品塗装業
 - 加盟率 12%
 - 補足率 46%程度
- 主な排出源
- 塗装 ・塗料からの溶剤の揮発
 - 乾燥 ・被塗物上の塗料からの溶剤の揮発
 - 洗浄 ・器具・被塗物の洗浄溶剤の揮発
- 除外・すそ切りの考え方
- 対象企業 会員企業を対象
 - 対象物質 会員企業へのアンケート調査の結果、排出量合計の9割以上を占める上位5物質

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}									
排出量	1,958		1,992	2,203	2,005	1,976	1,358	1,302	1,253
(増減率 ^{※2})	-		(+2%)	(+13%)	(+2%)	(+1%)	(▲31%)	(▲34%)	(▲36%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
参加企業数								94	98
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計	1,874		1,923	2,133	1,945	1,907	1,298	1,238	1,178
(対全国比)	(96%)		(97%)	(97%)	(97%)	(97%)	(96%)	(95%)	(94%)
関東地域 ^{※3}	869		807	775	694	535	514	486	460
関西地域 ^{※4}	149		96	95	90	85	42	13	17
中部地域 ^{※5}	856		1,020	1,263	1,161	1,287	742	739	701

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%)＝ $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

- 使用量の推計方法 使用量＝購入塗料中の含有VOC量＋購入シンナー量
- 排出量の推計方法 排出量＝使用量－(廃棄塗料中のVOC量＋廃棄シンナー量)
- 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等
■ 対策及びその効果、コスト

■ 自己評価

まだまだ経産省、環境省が納得する排出抑制ができておらず、申し訳ない気持ちです。しかし、会員はインプラント対策を施しており、さらなる努力が必要と考えております。

○ その他

・ **塗装工程の改善** ・ 下塗り、中塗りの工程を合わせて1工程に減らし、上塗りを施す。
・ **作業の改善** ・ 有機溶剤の入っている容器にはフタをすることなどインプラント対策をし、不良率を下げた再塗装を減らす。
・ **塗装設備の改善** ・ 高価な処理装置を導入する前に局所排気装置の風速をできる限り下げ、塗着効率を良くする。
・ **低VOC塗料への転換** ・ 最近、粉体塗料の使用が増えている傾向にあり、VOCの発生を抑えている。また、代替溶剤の利用も検討されてきており、今後の塗料メーカー、溶剤メーカーの協力を期待する。
・ **排ガス処理装置の設置** ・ いまだ会員が導入できる価格になっておらず、導入は難しく、サポイン等で開発が進むことを期待している。また、関係機関（都立産技研）においては、開発もしているようだが、われわれ会員が導入するに至っていない。産官学で研究開発できる土壌を作っていただき、さまざまな意見交換をし、排ガス処理装置を開発してはどうか。
・ 粉体塗料の使用は非常にVOCの発生を抑える貢献をすることができるが、塗装治具の清掃に費用がかかり、粉体塗料を使用することの足かせになっている。詳しく説明すると塗装治具の接点がきちんと清掃されていることが粉体塗料を使用するにあたり、最大の条件となります。それにはショットブラストの装置を導入することが必要となります。この装置導入の助成金を考えていただけないでしょうか？

○その他

われわれの会員はほとんどが賃加工であり、得意先の指示で塗料を購入し作業をしています。今後は我々の客先にもVOC抑制の指示をしていただかないと、これ以上の削減は限界のように思っております。いまだ防衛省などの塗装品は、有害物質の使用の仕様になっており、このあたりも改善していくことにより、客先の仕様書も変わっていくのではないのでしょうか。

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名 31 日本ゴム工業会
- 補足範囲
- 業 種 ゴム製品製造業
 - 加盟率 90% (生産量ベース、ゴム製品統計年報および当会調査より算出)
 - 補足率 約88% (業界からのVOC排出総量及び2000年度ゴム製品製造業VOC排出量等より算出)
- 主な排出源
- ゴム製品製造 ・塗装、接着、洗浄を含むゴム製品製造工程

- 除外・すそ切りの考え方
- 対象企業 参加企業36社のうち、取扱量が1トン以上の34社が報告対象
 - 対象物質 アセトン、キシレン、酢酸エチル、トルエン、ゴム揮発油、その他炭化水素類等の17物質

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}									
排出量	22,843	19,445	18,244	17,443	14,474	11,392	11,719	10,455	8,852
(増減率 ^{※2})	-	(▲15%)	(▲20%)	(▲24%)	(▲37%)	(▲50%)	(▲49%)	(▲54%)	(▲61%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
参加企業数								36	36
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計									
(対全国比)									
関東地域 ^{※3}									
関西地域 ^{※4}									
中部地域 ^{※5}									

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法 参加各社の積み上げ(事業場ベースで取扱量1t以上)

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

- ・生産工程変更によるVOC使用量削減
- ・VOC使用方法の工夫
- ・溶剤転換
- ・溶剤回収装置の設置

■ 自己評価

ゴム製品製造工場から排出されるVOC物質(ゴム業界で排出される代表的な17物質を対象)の総排出量について、平成12年度のVOC排出量をベースとして35%以上の削減を目標とし、平成20年度から平成24年度まで、5年連続で目標を達成してきた。平成25年度以降は、経済産業省よりVOC排出抑制に関する業界の方向性及び方策の策定について調査依頼があったことを受け、平成22年度の排出量(平成12年度対比49%削減)未満である『平成12年度対比50%以上削減』を維持し、引き続きVOCの排出削減に努めることを目標としている。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名 32 日本自動車車体整備協同組合連合会
- 補足範囲
- 業 種 自動車車体整備業
 - 加盟率 24% (企業数ベース、総務省企業統計から算出)
 - 補足率 約2% (日本塗料工業会の自動車補修分野における排出量から算出)
- 主な排出源
- 塗装
 - ・ 乾燥
 - ・ 洗浄
 - ・ 調色
 - ・ 事故等により破損した自動車のボデー・バンパー等の補修塗装
 - ・ スプレーガンによる吹き付け塗装時に発生する塗料からの溶剤の揮発
 - ・ スプレーガンの洗浄溶剤の揮発
 - ・ 塗料の調色作業時の溶剤の揮発
- 除外・すそ切りの考え方
- 対象企業 全会員企業
 - 対象物質 塗料中に含まれる全VOC

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}									
排出量	705		483	456	394	424	451	424	422
(増減率 ^{※2})	-		(▲31%)	(▲35%)	(▲44%)	(▲40%)	(▲36%)	(▲40%)	(▲40%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
	13,143.0		6,707.0	6,047.0	4,910.0	5,044.0	5,137.0	4,568.0	4,408.0
	-		(▲49%)	(▲54%)	(▲63%)	(▲62%)	(▲61%)	(▲65%)	(▲66%)
参加企業数			1,073	1,099	1,311	1,442	1,267	534	534
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計									
(対全国比)									
関東地域 ^{※3}									
関西地域 ^{※4}									
中部地域 ^{※5}									

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

- 使用量の推計方法
- 使用量1 = (塗料購入量 - 年度末在庫量 + 前年度在庫量) × (1 - 固形分率)
- 使用量2 = (パテ購入量 - 年度末在庫量 + 前年度在庫量) × (1 - 固形分率)
- 使用量3 = シンナー購入量 - 年度末在庫量 + 前年度在庫量
- 年間VOC使用量 = 使用量1 + 2 + 3
- 排出量の推計方法
- 排出量1 = (塗料購入量 - 年度末在庫量 + 前年度在庫量 - 廃塗料) × (1 - 固形分率)
- 排出量2 = (パテ購入量 - 年度末在庫量 + 前年度在庫量 - 廃塗料) × (1 - 固形分率)
- 排出量3 = シンナー購入量 - 年度末在庫量 + 前年度在庫量 - 廃シンナー
- 年間VOC排出量 = 排出量1 + 2 + 3
- 参加企業数の増減理由
- ・ 会員数の減少及び平成23年度末の削減目標が達成され、規制の見直しが無かったこと

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

- ・塗料の塗着効率の向上
- ・塗料の蒸発ロスの低減（保管・管理の徹底）
- ・低VOC塗料の採用

■ 自己評価

- ・車体整備市場の縮小によるVOCの排出量の減少が大きいと考えられる

○ その他

（注）固形分率（参考）クリアー40%、カラーベース25%、プラサフ65%、硬化剤45%、パテ94%

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名 33 日本粘着テープ工業会
- 補足範囲
- 業 種 粘着テープ製造業
 - 加盟率 約37% (企業数ベース)
 - 補足率 約53.3% (排出量ベース)
- 主な排出源
- 乾燥 ・粘着テープの粘着剤および剥離剤の塗工、乾燥工程
- 除外・すそ切りの考え方
- 対象企業 会員企業及び賛助会員企業(粘着テープ製造企業、剥離材製造企業)を対象
 - 対象物質 トルエン、キシレン、酢酸エチル、n-ヘキサン、メチルエチルケトン、その他

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}	101,228	109,252	107,143	108,773	88,453	89,076	85,627	94,547	99,995
排出量	25,510	13,515	11,504	9,955	9,471	7,229	5,559	5,114	4,947
(増減率 ^{※2})	-	(▲47%)	(▲55%)	(▲61%)	(▲63%)	(▲72%)	(▲78%)	(▲80%)	(▲81%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
参加企業数								17	17
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計	18,524	10,354	9,201	8,089	6,972	5,850	4,062	3,155	2,833
(対全国比)	(73%)	(77%)	(80%)	(81%)	(74%)	(81%)	(73%)	(62%)	(57%)
関東地域 ^{※3}	10,171	6,863	6,057	5,452	3,886	3,954	2,403	1,720	1,515
関西地域 ^{※4}	2,215	717	549	399	615	349	316	261	287
中部地域 ^{※5}	6,138	2,774	2,595	2,238	2,471	1,547	1,343	1,174	1,031

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%)＝
$$\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

- 使用量の推計方法 業界各社から提出頂いた使用量データを集計した。
- 排出量の推計方法 業界各社から提出頂いた大気への排出量データを集計した。
- 参加企業数の増減理由 17社 (増減なし)

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

- ・無溶剤型粘着剤への切り替え
- ・粘着剤の高濃度化(ハイソリッド化)による溶剤の削減(リデュース)
- ・乾燥工程から溶剤回収し再使用(リユース)
- ・回収溶剤の燃焼装置による熱回収(リサイクル)
- ・溶剤回収脱着水の処理

<コスト>

- ・溶剤燃焼装置 約2億円/1基
- ・溶剤回収装置 約3億円/1基

■ 自己評価

H24年度のVOC使用量は昨年度より増加したものの、大気排出量は減少した。業界企業のVOC排出削減努力の結果と考える。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名 34 全国楽器協会
- 補足範囲
- 業 種 その他の製造業(楽器製造業)
 - 加盟率 不明
 - 補足率 87% (出荷額ベース)
- 主な排出源
- 塗装 塗装工程での溶剤
 - 洗浄 洗浄工程での洗浄剤
- 除外・すそ切りの考え方
- 対象企業 業界大手企業
 - 対象物質 トルエン・スチレン・キシレン・ジクロロメタンの4物質(PRTRの対象物質の中より排出量の上位物質)

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}									
排出量	240				102	76	56	55	47
(増減率 ^{※2})	-				(▲58%)	(▲68%)	(▲77%)	(▲77%)	(▲80%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
参加企業数								4	4
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計									
(対全国比)									
関東地域 ^{※3}									
関西地域 ^{※4}									
中部地域 ^{※5}									

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

- 使用量の推計方法 原材料購入量に、対象物質の含有率を掛けて算出。(含有率は原材料のMSDSに記載されている値)
- 排出量の推計方法 以下①②いずれかの方法で算定
 - ① 工程における排出量を実測
 - ② 用途・使用方法から想定される排出係数を設定し、使用量に掛けて排出量を算定
- 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

- ・製造工程の見直し
 - ・低VOC製品の代替
 - ・VOC除去設備設置の検討
- <コスト>
- ・日常の業務改善によって対応しているため、追加的なコストは発生していない

■ 自己評価

- ・塗料使用量を減らす対策
平成21年度よりISO品質・環境の維持活動の一環として塗料使用量について歩留り管理を行い、VOCの排出量削減にむすびつけた。
- ・VOC揮発量を減らす対策
作業環境改善対策の一環としても使用中の塗料缶に常時蓋をすることとし、さらに廃棄塗料缶は目張りをしたうえで廃棄処分する
ことを作業標準として定めたことにより、VOC揮発量削減に効果があった。
- ・従業員の技能向上による対策
木工塗装技能士を計画的に育成し、塗装技能を向上させることにより不良率削減、塗料使用効率向上をはかった。
- ・トリクロロエチレンの製造工程における使用全廃。
- ・排ガス燃焼処理設備の導入により、大幅な大気排出削減が実施できた。
(燃焼効率の高い設備を導入したことで、臭気対策にもつながった。)
- ・製造方法の改善や節減の取り組みが継続されており、使用量自体の削減とそれに伴う排出削減が進んでいるが、これについては
生産量減少の影響も大きい。
- ・自動車内装部品でのスプレー塗装から型内塗装への変更により、スチレンを含有しない塗料へと代替できた。現在も対象部品を拡大中。
- ・塗装時の塗り直し率の改善による塗料使用量の削減なども実施し、ハードとソフトの両面で排出抑制対策を進めている。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名 35 日本釣用品工業会
- 補足範囲
- 業 種 その他の製造業
 - 加盟率 90%程度（製造品出荷ベース）
 - 補足率 同上（同上）
- 主な排出源
- 洗浄 ・釣針製造の焼き入れ工程

- 除外・すそ切りの考え方
- 対象企業 会員であって、釣針製造業を営む企業（15社）および団体会員（兵庫県釣針協同組合（38社）、播州釣針協同組合（30社））を対象（83社）。参加は19社
 - 対象物質 ジクロロメタン

- 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}									
排出量	110	80	79	80	78	78	69	63	66
(増減率 ^{※2})	-	(▲27%)	(▲28%)	(▲27%)	(▲29%)	(▲29%)	(▲37%)	(▲43%)	(▲40%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
参加企業数								19	19
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計									
(対全国比)									
関東地域 ^{※3}									
関西地域 ^{※4}									
中部地域 ^{※5}									

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%)＝
$$\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

- ・洗浄設備の改善、導入
- ・洗浄工程の効率化
- ・代替物質の使用
- ・代替洗浄技術

■ 自己評価

自主計画ではあるものの、平成22年の値を上まわらないように業界として作業環境の改善に取り組んでいる。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名 36 日本金属ハウスウェア工業組合
- 補足範囲
 - 業 種 金属ハウスウェア製造業
 - 加盟率 100% (会員企業ベース)
 - 補足率 同上 (同上)
- 主な排出源
 - 洗浄 ・脱脂洗浄工程

- 除外・すそ切りの考え方
 - 対象企業 対象企業53社(100%)
 - 対象物質 トリクロロエチレン

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}									
排出量	489					312	302	270	262
(増減率 ^{※2})	-					(▲36%)	(▲38%)	(▲45%)	(▲46%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
参加企業数								51	51
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計									
(対全国比)									
関東地域 ^{※3}									
関西地域 ^{※4}									
中部地域 ^{※5}									

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%)＝
$$\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法 —

■ 排出量の推計方法 排出量＝使用量－吸着回収量

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

- ①未使用時における暴露軽減のために密閉用の蓋を設置するなど大気中の暴露対策（作業現場の公害防止策含む）実施
- ②トリクロロエチレン回収装置の推奨 ③洗浄対象物の炭化水素系洗浄への移行の推奨（3社が一部を移行中）

■ 自己評価

当組合の組合員が製造している家庭用・業務用金属ハウスウェア製品群の洗浄工程では、当該物質の排出量は減少している。しかし、食品並びに化学プラント関係の大型タンク（配管設備含む）類を製造している組合員では、東日本大震災後、受注量が増加傾向にあり当該物質の使用量並びに排出量の減少が鈍化傾向にある。現在、設備投資等のコストを掛けずに該当する揮発性有機物質の排出量を削減しているが、次年度は更なる削減を見据え洗浄関係団体の指導を受けながら取り組みたい。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名

37 日本金属洋食器工業組合
- 補足範囲

■ 業 種

金属洋食器製造業

■ 加盟率

90%

■ 補足率

同上
- 主な排出源

■ 洗 浄

・金属洋食器の研磨後の洗浄
- 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

組合員中、アンケート回答があった会員を対象

■ 対象物質

トリクロロエチレン

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}									
排出量	201					39	33	29	28
(増減率 ^{※2})	-					(▲81%)	(▲84%)	(▲86%)	(▲86%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
参加企業数								8	
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計									
(対全国比)									
関東地域 ^{※3}									
関西地域 ^{※4}									
中部地域 ^{※5}									

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%)＝ $\frac{(\text{当該年度の排出量}-12\text{年度の排出量})}{12\text{年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

- 使用量の推計方法
- 排出量の推計方法
- 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

- ・回収装置の設置
- ・トリクロロエチレンに変わる代替品の使用

■ 自己評価

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団 体 名 39 日本ガス石油機器工業会
- 補足範囲
- 業 種 ガス・石油機器及び関連部品の製造業
 - 加盟率 不明
 - 補足率 78% (会社数ベース。VOC排出量としての補足率はほぼ100%)
- 主な排出源
- 塗装 ・製品塗装工程
 - 洗浄 ・脱脂洗浄工程
- 除外・すそ切りの考え方
- 対象企業 工業会の全会員会社
 - 対象物質 塗装工程及び脱脂洗浄工程から排出されるVOCの総量

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}									
排出量	765			581	526	499	513	588	529
(増減率 ^{※2})	-			(▲24%)	(▲31%)	(▲35%)	(▲33%)	(▲23%)	(▲31%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
参加企業数								80	78
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計				178	155	165	148	168	167
(対全国比)				(31%)	(29%)	(33%)	(29%)	(29%)	(32%)
関東地域 ^{※3}				51	45	30	21	31	26
関西地域 ^{※4}				51	39	56	36	27	25
中部地域 ^{※5}				76	71	79	91	110	116

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%)＝ $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$ (注) 排出量は、平成22年度まで他団体に報告していた2社の排出量(42トン)を含んだ量である。

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

次の量の合計をVOC排出量とした。

- ・ 塗装工程で使用した有機溶剤等の使用量にVOCの含有率及び排出係数を乗じた量
- ・ 脱脂洗浄工程で使用した脱脂洗浄剤の使用量に排出係数を乗じた量

■ 参加企業数の増減理由

会員会社数100社、回答会社数78社 会員数の減少による。会社数ベースの補足率は前記のとおりであるが、未回答会社はVOCを排出していないもしくは排出量が微量の会社でありVOC排出量は概ね100%近いものとする。(平成23年度以降他団体への報告していた2社が加わっている)

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

- ①代替物質への転換
- ②施設・設備・プロセスの改善
- ③回収・処理設備の設置
- ④設備・工程管理の強化

■ 自己評価

表記の排出量は、平成22年度まで他団体に報告していた2社の排出量(42トン)を含んだ量である。

該当2社を除く排出量487.3tは基準年度(H12年度)比較63.7%となり削減率は36.3%、前年比でも12.6%の削減となった。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名

その他
- 補足範囲

■ 業種

参加企業数が極めて少ないため、個別企業の属性に関する情報の開示は控える

■ 加盟率

0%

■ 補足率

0%
- 主な排出源

・参加企業数が極めて少ないため、個別企業の属性に関する情報の開示は控える。

- 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

排出量報告を行っている業界団体に、所属していない企業

■ 対象物質

全VOC

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】
■ 全国									
使用量 ^{※1}									
排出量	2,600	2,600	2,586	2,563	2,109	1,385	1,666	1,784	1,576
(増減率 ^{※2})	-	(+0%)	(▲1%)	(▲1%)	(▲19%)	(▲47%)	(▲36%)	(▲31%)	(▲39%)
うち法規制対象施設									
(増減率 ^{※2})	-								
参加企業数								30	25
(参考)地域別排出量									
■ 対策地域計									
(対全国比)									
関東地域 ^{※3}									
関西地域 ^{※4}									
中部地域 ^{※5}									

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%)＝
$$\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

- 使用量の推計方法
- 排出量の推計方法

・PRTR大気排出量
・VOC製品の取扱量と有機溶剤比率から大気排出量を求めたもの
- 参加企業数の増減理由

・VOCの使用を全廃した。
・排出量報告の依頼に対し回答がない。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

- ・工程内対策
- ・低VOC製品への代替
- ・除去設備の設置等

■ 自己評価

継続報告企業の合計排出量は平成22年度より減少している。

○ その他

産業環境管理協会は、業界団体に属さない企業の自主的取組を支援するため、平成19年10月に「VOC自主的取組支援ボード」を開設した。このため、当協会は特定業種を代表しているわけではなく、広くVOCを排出している企業に対する「排出量報告の受け皿」と「助言・情報提供」を目的に、支援ボードを運営している。
また、支援ボード参加の条件として、公表を前提として報告する情報を除き、個別企業の情報に関する一切守秘されることとしているため、排出量の集計値以外は公表することができない。

V O C 排出抑制に係る自主的取組のフォローアップについて
平成 2 4 年度実績（物質別排出量）

全体	87
1 日本ガス協会	88
2 日本染色協会	89
3 日本製紙連合会	90
4 日本鉄鋼連盟	91
5 電機・電子 4 団体	92
6 日本塗料工業会	93
7 日本自動車部品工業会	94
8 日本自動車工業会	95
9 線材製品協会	96
10 日本伸銅協会	97
11 全国鍍金工業組合連合会	98
12 日本電線工業会	99
13 日本溶融亜鉛鍍金協会	100
14 日本アルミニウム協会	101
15 日本建材・住宅設備産業協会	102
16 天然ガス鉱業会	103
17 石油連盟	104
18 日本化学工業協会	105
19 日本印刷産業連合会	106
20 ドラム缶工業会	107

21 軽金属製品協会	108
22 日本プラスチック工業連盟	109
23 日本オフィス家具協会	110
24 日本表面処理機材工業会	111
25 日本自動車車体工業会	112
26 日本接着剤工業会	113
28 プレハブ建築協会	114
29 印刷インキ工業連合会	115
30 日本工業塗装協同組合連合会	116
31 日本ゴム工業会	117
32 日本自動車車体整備協同組合連合会	118
33 日本粘着テープ工業会	119
34 全国楽器協会	120
35 日本釣用品工業会	121
36 日本金属ハウスウェア工業組合	122
37 日本金属洋食器工業組合	123
39 日本ガス石油機器工業会	124
その他（産業環境管理協会）	125

物質別VOC排出量(合計)

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	90,672	18%	55,312	15%	48,799	14%	42,496	13%	35,670	13%	31,555	13%	25,802	11%	22,172	11%	19,047	10%
—	炭化水素類	71,645	14%	63,061	17%	63,288	18%	59,620	18%	54,927	20%	52,806	21%	50,459	22%	47,535	23%	47,483	24%
—	酢酸エチル	32,351	6%	30,209	8%	23,686	7%	21,361	6%	18,193	7%	19,948	8%	13,380	6%	11,766	6%	11,130	6%
—	メチルエチルケトン	24,822	5%	19,361	5%	19,092	5%	16,325	5%	13,527	5%	12,052	5%	10,219	5%	7,881	4%	5,117	3%
80	キシレン	22,603	4%	13,584	4%	12,068	3%	11,416	3%	9,484	3%	7,707	3%	6,760	3%	6,443	3%	6,513	3%
—	イソプロピルアルコール	19,776	4%	16,559	4%	14,877	4%	12,843	4%	9,303	3%	9,569	4%	9,299	4%	7,022	3%	7,458	4%
—	メチルアルコール(メタノール)	13,219	3%	8,425	2%	8,080	2%	7,062	2%	6,141	2%	5,368	2%	5,607	2%	5,237	3%	5,442	3%
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	12,784	3%	6,495	2%	5,102	1%	4,305	1%	3,223	1%	2,866	1%	2,217	1%	2,533	1%	2,452	1%
—	アセトン	8,592	2%	5,473	1%	5,251	1%	5,112	2%	3,973	1%	3,879	2%	3,996	2%	3,781	2%	3,538	2%
392	ノルマルーヘキサン	8,408	2%	7,089	2%	7,689	2%	8,474	3%	7,105	3%	6,039	2%	3,541	2%	3,029	1%	2,756	1%
—	シクロヘキサン	4,129	1%	2,747	1%	2,588	1%	2,732	1%	2,622	1%	2,168	1%	1,541	1%	1,501	1%	1,238	1%
53	エチルベンゼン	3,830	1%	3,835	1%	3,756	1%	3,863	1%	3,317	1%	2,952	1%	2,905	1%	2,761	1%	2,968	1%
128	クロロメタン(塩化メチル)	3,371	1%	576	0%	403	0%	313	0%	269	0%	387	0%	263	0%	168	0%	1,374	1%
232	N,N-ジメチルホルムアミド	3,216	1%	2,000	1%	2,268	1%	2,152	1%	1,547	1%	1,116	0%	588	0%	182	0%	287	0%
318	二硫化炭素	2,073	0%	2,883	1%	2,186	1%	2,044	1%	1,837	1%	1,680	1%	1,966	1%	2,140	1%	1,797	1%
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)	1,879	0%	31	0%	30	0%	22	0%	16	0%	3	0%	15	0%	0	0%	13	0%
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	1,751	0%	1,116	0%	909	0%	878	0%	707	0%	638	0%	616	0%	602	0%	613	0%
281	トリクロロエチレン	1,654	0%	1,402	0%	1,396	0%	1,395	0%	1,324	0%	922	0%	961	0%	860	0%	840	0%
134	酢酸ビニル	1,610	0%	1,034	0%	843	0%	616	0%	538	0%	633	0%	586	0%	2	0%	487	0%
400	ベンゼン	1,561	0%	323	0%	307	0%	284	0%	279	0%	220	0%	212	0%	0	0%	178	0%
240	スチレン	1,412	0%	768	0%	829	0%	727	0%	448	0%	423	0%	301	0%	30	0%	256	0%
—	プロピルアルコール	1,311	0%	1,109	0%	1,144	0%	897	0%	732	0%	566	0%	651	0%	0	0%	435	0%
157	1,2-ジクロロエタン	1,157	0%	204	0%	184	0%	208	0%	153	0%	0	0%	148	0%	0	0%	102	0%
94	クロロエチレン(塩化ビニル)	1,072	0%	204	0%	181	0%	176	0%	148	0%	0	0%	154	0%	0	0%	132	0%
83	クメン(イソプロピルベンゼン)	897	0%	237	0%	270	0%	263	0%	284	0%	219	0%	191	0%	2	0%	131	0%
—	クロロエタン	826	0%	93	0%	77	0%	45	0%	40	0%	78	0%	55	0%	0	0%	87	0%
—	メチルイソブチルケトン	89	0%	82	0%	77	0%	88	0%	97	0%	50	0%	72	0%	74	0%	65	0%
—	ブチルセロソルブ	185	0%	225	0%	22	0%	29	0%	21	0%	2	0%	2	0%	2	0%	7	0%
86	クレゾール	269	0%	71	0%	47	0%	47	0%	38	0%	25	0%	23	0%	26	0%	25	0%
—	酢酸ブチル	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	3	0%
—	イソブタノール	58	0%	71	0%	60	0%	45	0%	32	0%	26	0%	26	0%	7	0%	5	0%
262	テトラクロロエチレン	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	64	0%
349	フェノール	107	0%	41	0%	40	0%	42	0%	30	0%	22	0%	30	0%	27	0%	30	0%
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
58	エチレングリコールモノメチルエーテル	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	3	0%
339	N-ビニル-2-ピロリドン	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
—	ブタノール	226	0%	231	0%	239	0%	255	0%	237	0%	212	0%	168	0%	154	0%	150	0%
—	その他	50,077	10%	31,274	8%	32,431	9%	29,535	9%	23,518	8%	19,479	8%	23,265	10%	24,355	12%	23,206	12%
—	物質別データなし	122,750	24%	98,180	26%	95,069	27%	96,910	29%	79,215	28%	65,789	26%	58,794	26%	56,427	27%	52,854	27%
	合計	510,381	100%	374,302	100%	353,287	100%	332,573	100%	278,994	100%	249,395	100%	224,814	100%	206,719	100%	198,282	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 排出量自体を把握していない年度がある場合は、直近の把握している年度の排出量を用いて集計

注3) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名： 日本ガス協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																		
—	炭化水素類	87	100%	27	100%	0		0		0		0		0		0		0	
—	酢酸エチル																		
—	メチルエチルケトン																		
80	キシレン																		
—	イソプロピルアルコール																		
—	メチルアルコール(メタノール)																		
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																		
—	アセトン																		
392	ノルマルーヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン																		
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																		
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他																		
—	物質別データなし																		
	合計	87	100%	27	100%	0		0		0		0		0		0		0	

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
 注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本染色協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	2,648	31%	2,036	29%	2,104	31%	1,944	31%	1,540	30%	1,180	29%	825	27%	654	24%	414	20%
—	炭化水素類																		
—	酢酸エチル	165	2%	149	2%	187	3%	201	3%	166	3%	146	4%	95	3%	484	18%	282	14%
—	メチルエチルケトン	1,446	17%	1,416	20%	1,568	23%	1,429	22%	1,221	24%	942	23%	697	23%	377	14%	176	8%
80	キシレン	228	3%	130	2%	110	2%	82	1%	82	2%	55	1%	75	2%	52	2%	57	3%
—	イソプロピルアルコール	351	4%	359	5%	409	6%	448	7%	406	8%	321	8%	316	10%	335	12%	513	25%
—	メチルアルコール(メタノール)																		
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																		
—	アセトン																		
392	ノルマルーヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン																		
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド	1,104	13%	944	13%	970	14%	950	15%	670	13%	564	14%	258	8%	160	6%	93	4%
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	45	1%	42	1%	17	0%	26	0%	18	0%	24	1%	29	1%	35	1%	32	2%
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ	185	2%	225	3%	22	0%	29	0%	21	0%	2	0%	2	0%	2	0%	1	0%
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール	58	1%	71	1%	60	1%	45	1%	32	1%	26	1%	26	1%	7	0%	4	0%
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他	2,328	27%	1,746	25%	1,441	21%	1,200	19%	1,006	19%	796	20%	720	24%	621	23%	500	24%
—	物質別データなし																		
	合計	8,558	100%	7,118	100%	6,888	100%	6,354	100%	5,162	100%	4,054	100%	3,043	100%	2,727	100%	2,072	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
注2)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本製紙連合会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																		
—	炭化水素類																		
—	酢酸エチル																		
—	メチルエチルケトン																		
80	キシレン																		
—	イソプロピルアルコール																		
—	メチルアルコール(メタノール)																		
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																		
—	アセトン																		
392	ノルマルーヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン																		
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																		
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他																		
—	物質別データなし	10,015	100%	4,222	100%	4,534	100%	4,049	100%	3,614	100%	3,493	100%	1,641	100%	1,648	100%	1,521	100%
	合計	10,015	100%	4,222	100%	4,534	100%	4,049	100%	3,614	100%	3,493	100%	1,641	100%	1,648	100%	1,521	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本鉄鋼連盟

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																		
—	炭化水素類																		
—	酢酸エチル																		
—	メチルエチルケトン																		
80	キシレン																		
—	イソプロピルアルコール																		
—	メチルアルコール(メタノール)																		
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																		
—	アセトン																		
392	ノルマルーヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン																		
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																		
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他																		
—	物質別データなし	6,992	100%	4,518	100%	4,537	100%	4,355	100%	3,996	100%	3,133	100%	3,043	100%	2,777	100%	2,365	100%
	合計	6,992	100%	4,518	100%	4,537	100%	4,355	100%	3,996	100%	3,133	100%	3,043	100%	2,777	100%	2,365	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 電機・電子4団体

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																		
—	炭化水素類																		
—	酢酸エチル																		
—	メチルエチルケトン																		
80	キシレン																		
—	イソプロピルアルコール																		
—	メチルアルコール(メタノール)																		
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																		
—	アセトン																		
392	ノルマルーヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン																		
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																		
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他																		
—	物質別データなし	24,984	100%	18,018	100%	16,843	100%	16,692	100%	13,635	100%	11,345	100%	11,024	100%	10,373	100%	10,144	100%
	合計	24,984	100%	18,018	100%	16,843	100%	16,692	100%	13,635	100%	11,345	100%	11,024	100%	10,373	100%	10,144	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本塗料工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	952	24%	585	19%	549	19%	510	17%	414	15%	369	15%	371	16%	332	15%	337	16%
—	炭化水素類																		
—	酢酸エチル	169	4%	152	5%	179	6%	195	7%	219	8%	196	8%	184	8%	196	9%	170	8%
—	メチルエチルケトン	95	2%	123	4%	97	3%	105	4%	118	4%	108	4%	83	4%	56	2%	56	3%
80	キシレン	433	11%	371	12%	364	13%	377	13%	287	10%	244	10%	234	10%	249	11%	235	11%
—	イソプロピルアルコール	81	2%	87	3%	70	2%	72	2%	98	3%	86	4%	77	3%	73	3%	74	3%
—	メチルアルコール(メタノール)																		
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																		
—	アセトン																		
392	ノルマルーヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン	244	6%	172	6%	213	7%	223	8%	195	7%	157	7%	151	7%	155	7%	156	7%
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																		
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン	78	2%	79	3%	74	3%	84	3%	92	3%	48	2%	67	3%	67	3%	47	2%
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール	65	2%	70	2%	76	3%	74	3%	73	3%	50	2%	57	2%	47	2%	45	2%
—	その他	1,830	46%	1,422	46%	1,285	44%	1,299	44%	1,316	47%	1,150	48%	1,094	47%	1,080	48%	1,041	48%
—	物質別データなし																		
	合計	3,947	100%	3,061	100%	2,907	100%	2,939	100%	2,812	100%	2,408	100%	2,318	100%	2,255	100%	2,161	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
注2)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本自動車部品工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	6,704	30%	5,227	29%	4,585	27%	4,076	25%	3,085	25%	3,227	28%	3,192	34%	2,456	29%	1,709	20%
—	炭化水素類																		
—	酢酸エチル																		
—	メチルエチルケトン	1,737	8%	1,706	9%	1,666	10%	1,518	9%	1,085	9%	1,195	10%	738	8%	661	8%	629	7%
80	キシレン	2,390	11%	2,625	14%	2,163	13%	2,159	13%	1,708	14%	1,503	13%	1,168	12%	1,208	14%	940	11%
—	イソプロピルアルコール																		
—	メチルアルコール(メタノール)	1,935	9%	1,545	9%	1,439	8%	1,055	7%	632	5%	610	5%	690	7%	430	5%	794	9%
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	3,058	13%	1,302	7%	910	5%	755	5%	634	5%	384	3%	199	2%	168	2%	124	1%
—	アセトン	1,403	6%	293	2%	350	2%	309	2%	135	1%	95	1%	106	1%	116	1%	147	2%
392	ノルマルーヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン																		
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																		
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他	5,498	24%	5,425	30%	6,161	36%	6,189	39%	4,943	40%	4,688	40%	3,401	36%	3,494	41%	4,044	48%
—	物質別データなし																		
	合計	22,725	100%	18,121	100%	17,274	100%	16,061	100%	12,222	100%	11,702	100%	9,493	100%	8,533	100%	8,387	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名： 日本自動車工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	6,127	12%	4,189	10%	4,250	10%	4,087	10%	3,288	10%	2,541	10%	2,357	9%	2,209	9%	2,416	10%
—	炭化水素類																		
—	酢酸エチル																		
—	メチルエチルケトン																		
80	キシレン	11,086	21%	5,142	12%	4,783	12%	4,611	12%	3,748	12%	3,063	12%	2,556	10%	2,506	10%	2,783	11%
—	イソプロピルアルコール																		
—	メチルアルコール(メタノール)																		
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																		
—	アセトン																		
392	ノルマルーヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン	1,991	4%	1,978	5%	2,085	5%	2,242	6%	1,896	6%	1,631	6%	1,649	6%	1,607	6%	1,731	7%
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	344	1%	614	1%	618	2%	573	1%	496	2%	397	2%	367	1%	383	2%	365	2%
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他													662	3%	717	3%	584	2%
—	物質別データなし	33,137	63%	29,276	71%	29,240	71%	27,782	71%	22,790	71%	18,641	71%	18,032	70%	17,499	70%	16,345	67%
	合計	52,685	100%	41,199	100%	40,976	100%	39,295	100%	32,218	100%	26,273	100%	25,623	100%	24,921	100%	24,224	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：線材製品協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																	53	22%
—	炭化水素類																		
—	酢酸エチル																	27	11%
—	メチルエチルケトン																		
80	キシレン																	3	1%
—	イソプロピルアルコール																		
—	メチルアルコール(メタノール)																		
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																	66	28%
—	アセトン																	22	9%
392	ノルマルーヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン																		
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																	3	1%
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																	64	27%
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他																		
—	物質別データなし	1,290	100%	894	100%	726	100%	509	100%	371	100%	254	100%	291	100%	241	100%		
	合計	1,290	100%	894	100%	726	100%	509	100%	371	100%	254	100%	291	100%	241	100%	238	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
 注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本伸銅協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	318	73%	178	97%	170	97%	155	97%	108	98%	85	96%	86	98%	81	97%	79	96%
—	炭化水素類																		
—	酢酸エチル																		
—	メチルエチルケトン																		
80	キシレン	17	4%	3	2%	4	2%	4	3%	2	2%	2	2%	2	2%	2	3%	3	3%
—	イソプロピルアルコール																		
—	メチルアルコール(メタノール)																		
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	100	23%	2	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%		
—	アセトン																		
392	ノルマルーヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	1	0%	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	2%	0	0%	0	0%	0	0%
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他																		
—	物質別データなし																		
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
注2)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名： 全国鍍金工業組合連合会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																		
—	炭化水素類																		
—	酢酸エチル																		
—	メチルエチルケトン																		
80	キシレン																		
—	イソプロピルアルコール																		
—	メチルアルコール(メタノール)																		
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	392	29%	280	28%	275	28%	271	28%	244	28%	220	28%	220	26%	200	26%	210	28%
—	アセトン																		
392	ノルマルーヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン																		
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																		
281	トリクロロエチレン	964	71%	712	72%	706	72%	705	72%	634	72%	571	72%	626	74%	561	74%	550	72%
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他																		
—	物質別データなし																		
	合計	1,356	100%	992	100%	981	100%	976	100%	878	100%	791	100%	846	100%	761	100%	760	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本電線工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	126	9%	60	6%	56	5%	46	5%	39	5%	42	6%	45	6%	41	6%	36	6%
—	炭化水素類																		
—	酢酸エチル																		
—	メチルエチルケトン	44	3%	45	4%	59	6%	58	6%	44	5%	45	7%	41	6%	33	5%	32	6%
80	キシレン	138	10%	57	6%	78	7%	64	7%	58	7%	46	7%	61	9%	55	9%	55	10%
—	イソプロピルアルコール	234	16%	375	37%	371	35%	296	31%	270	33%	186	28%	181	26%	161	26%	143	25%
—	メチルアルコール(メタノール)	68	5%	46	5%	75	7%	72	8%	61	7%	57	9%	65	9%	64	10%	50	9%
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	35	2%	2	0%	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
—	アセトン	175	12%	111	11%	110	11%	103	11%	93	11%	78	12%	95	13%	81	13%	65	11%
392	ノルマル-ヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン																		
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド	73	5%	40	4%	44	4%	33	3%	30	4%	34	5%	31	4%	22	3%	21	4%
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																		
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール	269	19%	71	7%	47	4%	47	5%	38	5%	25	4%	23	3%	26	4%	25	4%
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール	107	7%	41	4%	40	4%	42	4%	30	4%	22	3%	30	4%	27	4%	30	5%
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他	170	12%	165	16%	165	16%	188	20%	159	19%	125	19%	135	19%	122	19%	118	21%
—	物質別データなし																		
	合計	1,439	100%	1,013	100%	1,046	100%	949	100%	822	100%	660	100%	707	100%	631	100%	575	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
注2)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本溶融亜鉛鍍金協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	54	53%	57	58%	53	55%	48	56%	38	53%	36	55%	36	54%	28	40%	27	50%
—	炭化水素類																		
—	酢酸エチル																		
—	メチルエチルケトン																		
80	キシレン	47	47%	42	42%	43	44%	39	45%	34	47%	30	45%	30	45%	42	60%	27	50%
—	イソプロピルアルコール																		
—	メチルアルコール(メタノール)																		
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																		
—	アセトン																		
392	ノルマルーヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン																		
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																		
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他																		
—	物質別データなし																		
	合計	101	100%	99	100%	97	100%	86	100%	72	100%	66	100%	67	100%	70	100%	54	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
 注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本アルミニウム協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																		
—	炭化水素類																		
—	酢酸エチル																		
—	メチルエチルケトン																		
80	キシレン																		
—	イソプロピルアルコール																		
—	メチルアルコール(メタノール)																		
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																		
—	アセトン																		
392	ノルマルーヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン																		
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																		
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他																		
—	物質別データなし	1,900	100%	569	100%	532	100%	679	100%	499	100%	550	100%	343	100%	322	100%	331	100%
	合計	1,900	100%	569	100%	532	100%	679	100%	499	100%	550	100%	343	100%	322	100%	331	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
 注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本建材・住宅設備産業協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	4,419	55%	3,645	60%	2,683	60%	1,732	50%	1,600	54%	1,344	56%	1,257	57%	983	51%	812	49%
—	炭化水素類																		
—	酢酸エチル																		
—	メチルエチルケトン																		
80	キシレン	2,256	28%	1,528	25%	1,118	25%	1,073	31%	892	30%	667	28%	594	27%	614	32%	531	32%
—	イソプロピルアルコール																		
—	メチルアルコール(メタノール)																		
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	771	10%	240	4%	243	5%	169	5%	144	5%	103	4%	69	3%	67	3%	71	4%
—	アセトン																		
392	ノルマルーヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン	449	6%	524	9%	382	8%	401	12%	276	9%	250	10%	239	11%	214	11%	198	12%
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																		
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他	136	2%	122	2%	82	2%	83	2%	71	2%	48	2%	49	2%	44	2%	45	3%
—	物質別データなし																		
	合計	8,031	100%	6,059	100%	4,508	100%	3,458	100%	2,983	100%	2,412	100%	2,208	100%	1,922	100%	1,657	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
注2)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：天然ガス鉱業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																		
—	炭化水素類	2,603	100%	1,665	100%	1,643	100%	2,736	100%	3,528	100%	3,281	100%	3,095	100%	1,278	100%	1,082	100%
—	酢酸エチル																		
—	メチルエチルケトン																		
80	キシレン																		
—	イソプロピルアルコール																		
—	メチルアルコール(メタノール)																		
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																		
—	アセトン																		
392	ノルマルーヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン																		
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																		
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他																		
—	物質別データなし																		
	合計	2,603	100%	1,665	100%	1,643	100%	2,736	100%	3,528	100%	3,281	100%	3,095	100%	1,278	100%	1,082	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：石油連盟

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																		
—	炭化水素類	61,426	100%	54,859	100%	53,482	100%	49,331	100%	46,108	100%	43,952	100%	42,551	100%	41,853	100%	39,207	100%
—	酢酸エチル																		
—	メチルエチルケトン																		
80	キシレン																		
—	イソプロピルアルコール																		
—	メチルアルコール(メタノール)																		
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																		
—	アセトン																		
392	ノルマルーヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン																		
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																		
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他																		
—	物質別データなし																		
	合計	61,426	100%	54,859	100%	53,482	100%	49,331	100%	46,108	100%	43,952	100%	42,551	100%	41,853	100%	39,207	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本化学工業協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	6,435	7%	3,447	7%	2,998	6%	2,914	6%	2,390	6%	2,194	6%	2,821	9%	2,415	8%	1,718	6%
—	炭化水素類	7,165	8%	6,146	12%	7,792	16%	7,143	15%	4,918	13%	5,205	15%	4,560	14%	4,162	14%	6,428	21%
—	酢酸エチル	1,664	2%	1,100	2%	1,853	4%	1,744	4%	1,199	3%	1,007	3%	1,102	3%			977	3%
—	メチルエチルケトン	4,307	5%	1,427	3%	1,738	4%	1,316	3%	947	3%	681	2%	820	3%	641	2%	586	2%
80	キシレン	1,730	2%	685	1%	568	1%	469	1%	362	1%			241	1%			197	1%
—	イソプロピルアルコール																		
—	メチルアルコール(メタノール)	11,089	12%	6,732	13%	6,455	13%	5,847	12%	5,410	15%	4,639	13%	4,790	15%	4,685	16%	4,540	15%
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	5,530	6%	3,026	6%	2,172	4%	1,721	4%	1,012	3%	1,106	3%	725	2%	819	3%	983	3%
—	アセトン	6,972	8%	5,028	10%	4,755	10%	4,671	10%	3,719	10%	3,682	11%	3,770	12%	3,560	12%	3,277	11%
392	ノルマルーヘキサン	7,627	9%	6,744	13%	6,780	14%	7,759	17%	6,101	16%	5,601	16%	3,290	10%	2,583	9%	2,217	7%
—	シクロヘキサン	4,116	5%	2,715	5%	2,557	5%	2,701	6%	2,596	7%	2,145	6%	1,516	5%	1,477	5%	1,213	4%
53	エチルベンゼン																		
128	クロロメタン(塩化メチル)	3,371	4%	576	1%	403	1%	313	1%	269	1%	387	1%	263	1%	168	1%	1,374	4%
232	N,N-ジメチルホルムアミド	2,038	2%	189	0%	266	1%	185	0%	150	0%			149	0%			173	1%
318	二硫化炭素	2,073	2%	2,883	6%	2,186	4%	2,044	4%	1,837	5%	1,680	5%	1,966	6%	2,140	7%	1,797	6%
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)	1,879	2%	31	0%	30	0%	22	0%	16	0%	3	0%	15	0%			13	0%
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	1,197	1%	191	0%	16	0%	10	0%	6	0%			7	0%			4	0%
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル	1,608	2%	1,032	2%	841	2%	615	1%	537	1%	632	2%	582	2%			485	2%
400	ベンゼン	1,561	2%	323	1%	307	1%	284	1%	279	1%	220	1%	212	1%			178	1%
240	スチレン	1,330	1%	638	1%	698	1%	630	1%	411	1%	391	1%	270	1%			230	1%
—	プロピルアルコール	1,311	1%	1,109	2%	1,144	2%	897	2%	732	2%	566	2%	651	2%			435	1%
157	1,2-ジクロロエタン	1,157	1%	204	0%	184	0%	208	0%	153	0%			148	0%			102	0%
94	クロロエチレン(塩化ビニル)	1,072	1%	204	0%	181	0%	176	0%	148	0%			154	0%			132	0%
83	クメン(イソプロピルベンゼン)	897	1%	237	0%	270	1%	263	1%	284	1%	219	1%	191	1%			129	0%
—	クロロエタン	826	1%	93	0%	77	0%	45	0%	40	0%	78	0%	55	0%			87	0%
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他	11,854	13%	5,799	11%	5,161	10%							4,364	13%	7,212	24%	3,547	12%
—	物質別データなし			131	0%			4,840	10%	3,790	10%	4,218	12%						
	合計	88,809	100%	50,690	100%	49,432	100%	46,817	100%	37,306	100%	34,654	100%	32,662	100%	29,862	100%	30,822	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本印刷産業連合会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	36,860	32%	19,900	26%	18,050	25%	15,600	24%	13,700	26%	12,300	24%	8,200	19%	6,800	19%	5,600	16%
—	炭化水素類																		
—	酢酸エチル	20,220	18%	18,980	25%	15,000	21%	12,900	20%	11,300	22%	13,800	27%	9,700	23%	8,100	23%	7,600	22%
—	メチルエチルケトン	15,960	14%	11,830	15%	11,400	16%	9,200	14%	7,900	15%	7,000	14%	6,400	15%	5,800	16%	3,300	10%
80	キシレン																		
—	イソプロピルアルコール	18,720	16%	15,000	20%	13,400	19%	11,400	18%	8,000	15%	8,500	17%	8,500	20%	6,300	18%	6,600	19%
—	メチルアルコール(メタノール)																		
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																		
—	アセトン																		
392	ノルマルーヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン																		
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																		
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他	23,740	21%	10,890	14%	13,050	18%	15,400	24%	11,600	22%	8,700	17%	9,900	23%	8,500	24%	11,500	33%
—	物質別データなし																		
	合計	115,500	100%	76,600	100%	70,900	100%	64,500	100%	52,500	100%	50,300	100%	42,700	100%	35,500	100%	34,600	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: ドラム缶工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																		
—	炭化水素類																		
—	酢酸エチル																		
—	メチルエチルケトン																		
80	キシレン																		
—	イソプロピルアルコール																		
—	メチルアルコール(メタノール)																		
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																		
—	アセトン																		
392	ノルマルーヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン																		
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																		
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他																		
—	物質別データなし	1,763	100%	1,818	100%	1,874	100%	1,965	100%	1,617	100%	1,575	100%	1,592	100%	1,570	100%	1,598	100%
	合計	1,763	100%	1,818	100%	1,874	100%	1,965	100%	1,617	100%	1,575	100%	1,592	100%	1,570	100%	1,598	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：軽金属製品協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	215	62%	180	58%	105	42%	53	39%	70	34%	26	21%	20	21%	26	19%	25	17%
—	炭化水素類																		
—	酢酸エチル																		
—	メチルエチルケトン																		
80	キシレン	129	37%	123	39%	106	43%	74	55%	97	47%	71	57%	56	58%	76	55%	83	56%
—	イソプロピルアルコール																		
—	メチルアルコール(メタノール)																		
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																		
—	アセトン																		
392	ノルマルーヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン	5	1%	9	3%	38	15%	9	7%	39	19%	27	22%	21	22%	35	26%	40	27%
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																		
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他																		
—	物質別データなし																		
	合計	349	100%	312	100%	249	100%	135	100%	206	100%	124	100%	97	100%	137	100%	148	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
注2)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本プラスチック工業連盟

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	5,827	39%	4,936	24%	3,963	25%	3,665	23%	1,997	16%	1,720	15%	961	15%	1,023	16%	972	20%
—	炭化水素類																	530	11%
—	酢酸エチル	4,735	32%	6,810	34%	4,602	29%	4,337	27%	3,776	31%	3,636	32%	1,594	24%	2,300	37%	1,382	29%
—	メチルエチルケトン	322	2%	2,342	12%	2,153	13%	2,302	14%	1,874	15%	1,731	15%	1,226	19%	189	3%	170	4%
80	キシレン																	9	0%
—	イソプロピルアルコール	343	2%	703	3%	588	4%	592	4%	485	4%	439	4%	192	3%	127	2%	101	2%
—	メチルアルコール(メタノール)																		
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	2,591	17%	1,486	7%	1,358	8%	1,256	8%	1,062	9%	947	8%	919	14%	1,199	19%	918	19%
—	アセトン																	3	0%
392	ノルマルーヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン																		
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド	1	0%	827	4%	988	6%	984	6%	697	6%	518	5%	150	2%	0	0%	0	0%
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																		
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																	3	0%
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																	6	0%
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他	1,172	8%	3,089	15%	2,461	15%	2,761	17%	2,451	20%	2,364	21%	1,581	24%	1,456	23%	637	13%
—	物質別データなし																	30	1%
	合計	14,991	100%	20,193	100%	16,113	100%	15,893	100%	12,338	100%	11,354	100%	6,623	100%	6,294	100%	4,760	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本オフィス家具協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	257	13%	125	10%	134	11%	114	10%	96	10%	86	12%	67	10%	80	12%	83	12%
—	炭化水素類																		
—	酢酸エチル	49	2%	59	5%	63	5%	73	7%	70	8%	59	8%	52	8%	34	5%	33	5%
—	メチルエチルケトン																		
80	キシレン	896	45%	498	40%	533	44%	460	42%	365	40%	244	35%	214	31%	192	29%	177	26%
—	イソプロピルアルコール																		
—	メチルアルコール(メタノール)																		
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	30	2%	17	1%	18	1%	20	2%	22	2%	9	1%	15	2%	17	3%	14	2%
—	アセトン																		
392	ノルマルーヘキサン																	6	1%
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン	237	12%	178	14%	191	16%	167	15%	117	13%	81	12%	95	14%	102	15%	92	13%
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																		
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン	11	1%	3	0%	3	0%	4	0%	5	1%	2	0%	5	1%	7	1%	8	1%
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他	496	25%	245	20%	264	22%	262	24%	243	26%	219	31%	231	34%	231	35%	276	40%
—	物質別データなし			110	9%														
	合計	1,977	100%	1,235	100%	1,205	100%	1,100	100%	918	100%	700	100%	680	100%	663	100%	689	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
注2)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量(トン)

団体名：日本表面処理機材工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																		
—	炭化水素類																		
—	酢酸エチル																		
—	メチルエチルケトン																		
80	キシレン																		
—	イソプロピルアルコール	0.75	91%	1.04	88%	0.97	88%	1.00	79%	0.22	48%	0.20	43%	0.21	45%	0.09	35%	0.19	51%
—	メチルアルコール(メタノール)	0.04	5%	0.12	10%	0.10	9%	0.24	19%	0.22	48%	0.25	55%	0.25	53%	0.15	58%	0.17	46%
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																		
—	アセトン																		
392	ノルマルーヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン																		
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																		
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他	0.03	4%	0.03	3%	0.04	4%	0.02	2%	0.02	4%	0.01	2%	0.01	2%	0.01	4%	0.01	2%
—	物質別データなし																		
	合計	0.82	100%	1.18	100%	1.10	100%	1.27	100%	0.46	100%	0.45	100%	0.47	100%	0.26	100%	0.37	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
注2)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本自動車車体工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	1,539	8%	1,394	7%	1,172	6%	1,035	6%	855	6%	973	8%	915	8%	810	7%	872	7%
—	炭化水素類																		
—	酢酸エチル																		
—	メチルエチルケトン																		
80	キシレン	2,246	11%	1,626	9%	1,360	8%	1,172	7%	1,062	8%	1,067	9%	975	9%	911	8%	952	8%
—	イソプロピルアルコール																		
—	メチルアルコール(メタノール)																		
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																		
—	アセトン																		
392	ノルマルーヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン	717	4%	796	4%	659	4%	616	3%	600	4%	616	5%	595	5%	487	4%	580	5%
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	120	1%	224	1%	255	1%	267	1%	184	1%	212	2%	211	2%	179	2%	199	2%
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他																		
—	物質別データなし	15,678	77%	15,020	79%	14,614	81%	14,913	83%	11,325	81%	8,798	75%	8,452	76%	8,742	79%	9,137	78%
	合計	20,300	100%	19,060	100%	18,060	100%	18,003	100%	14,026	100%	11,666	100%	11,148	100%	11,129	100%	11,740	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本接着剤工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	171	29%	100	21%	99	20%	89	21%	86	24%	76	23%	69	22%	79	24%	80	24%
—	炭化水素類																		
—	酢酸エチル	105	18%	104	22%	108	22%	95	23%	111	31%	91	27%	65	20%	71	22%	71	21%
—	メチルエチルケトン	46	8%	36	8%	47	10%	34	8%	33	9%	31	9%	31	10%	33	10%	37	11%
80	キシレン	24	4%	21	4%	23	5%	23	5%	20	6%	12	4%	17	5%	17	5%	17	5%
—	イソプロピルアルコール																		
—	メチルアルコール(メタノール)	112	19%	92	20%	102	21%	83	20%	31	9%	55	16%	59	19%	54	17%	56	17%
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																		
—	アセトン	42	7%	41	9%	36	7%	29	7%	26	7%	24	7%	25	8%	24	7%	24	7%
392	ノルマルーヘキサン	45	8%	29	6%	32	7%	28	7%	22	6%	18	5%	19	6%	14	4%	15	5%
—	シクロヘキサン	13	2%	32	7%	31	6%	31	7%	26	7%	23	7%	25	8%	24	7%	25	8%
53	エチルベンゼン																		
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																		
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他	40	7%	15	3%	10	2%	9	2%	7	2%	6	2%	8	3%	7	2%	6	2%
—	物質別データなし																		
	合計	598	100%	470	100%	487	100%	422	100%	362	100%	337	100%	318	100%	323	100%	331	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：プレハブ建築協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	1,162	69%	675	68%	555	62%	383	61%	322	59%	322	61%	370	61%	331	60%	289	56%
—	炭化水素類																		
—	酢酸エチル																		
—	メチルエチルケトン																		
80	キシレン	283	17%	157	16%	230	26%	177	28%	166	31%	165	31%	175	29%	150	27%	134	26%
—	イソプロピルアルコール																		
—	メチルアルコール(メタノール)																		
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	158	9%	51	5%	37	4%	24	4%	15	3%	6	1%	1	0%	0	0%	0	0%
—	アセトン																		
392	ノルマルーヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン	24	1%	15	2%	23	3%	22	3%	28	5%	26	5%	42	7%	53	10%	64	12%
128	クロロメタン(塩化メチル)																	0	0%
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	44	3%	44	4%	3	0%	2	0%	3	1%	3	1%	2	0%	5	1%	7	1%
281	トリクロロエチレン																	0	0%
134	酢酸ビニル	2	0%	2	0%	2	0%	1	0%	1	0%	1	0%	4	1%	2	0%	2	0%
400	ベンゼン																	0	0%
240	スチレン	1	0%	49	5%	50	6%	16	3%	1	0%	3	1%	3	1%	3	0%	3	1%
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																	0	0%
83	クメン(イソプロピルベンゼン)													0	0%	2	0%	2	0%
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル													0	0%	0	0%	0	0%
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他	1	0%	1	0%	0	0%	5	1%	6	1%	5	1%	8	1%	10	2%	11	2%
—	物質別データなし																		
	合計	1,675	100%	993	100%	899	100%	629	100%	542	100%	531	100%	604	100%	556	100%	512	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：印刷インキ工業連合会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	109	26%	79	25%	78	23%	62	23%	78	26%	60	21%	46	16%	37	18%	36	15%
—	炭化水素類																	2	1%
—	酢酸エチル	79	19%	55	18%	65	19%	64	24%	61	20%	67	24%	49	17%	43	21%	49	21%
—	メチルエチルケトン	81	19%	48	15%	59	18%	47	17%	52	17%	49	17%	37	13%	29	14%	29	12%
80	キシレン	27	6%	17	5%	16	5%	9	3%	9	3%	7	2%	8	3%	5	2%	3	1%
—	イソプロピルアルコール	46	11%	34	11%	38	11%	34	13%	44	15%	37	13%	33	12%	26	13%	27	11%
—	メチルアルコール(メタノール)	15	4%	10	3%	9	3%	5	2%	7	2%	7	2%	3	1%	4	2%	2	1%
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																	0	0%
—	アセトン																	—	
392	ノルマルーヘキサン																	—	
—	シクロヘキサン																	—	
53	エチルベンゼン																	2	1%
128	クロロメタン(塩化メチル)																	0	0%
232	N,N-ジメチルホルムアミド																	—	
318	二硫化炭素																	0	0%
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																	0	0%
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																	3	1%
281	トリクロロエチレン																	0	0%
134	酢酸ビニル																	—	
400	ベンゼン																	0	0%
240	スチレン																	—	
—	プロピルアルコール																	—	
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																	—	
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																	4	2%
—	ブチルセロソルブ																	6	3%
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																	3	1%
—	イソブタノール																	1	0%
262	テトラクロロエチレン																	0	0%
349	フェノール																	0	0%
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																	—	
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																	3	1%
339	N-ビニル-2-ピロリドン																	0	0%
—	ブタノール																	—	
—	その他	60	14%	53	17%	52	16%	46	17%	47	16%	55	20%	80	28%	57	28%	69	29%
—	物質別データなし	6	1%	17	5%	17	5%	2	1%					27	10%	4	2%	4	2%
	合計	423	100%	313	100%	334	100%	269	100%	299	100%	281	100%	283	100%	205	100%	239	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
注2)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本工業塗装協同組合連合会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】※		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																		
—	炭化水素類	364	19%	364	19%	371	19%	410	19%	373	19%	368	19%	253	19%	242	19%	234	19%
—	酢酸エチル																		
—	メチルエチルケトン																		
80	キシレン	493	25%	493	25%	502	25%	555	25%	505	25%	489	25%	342	25%	328	25%	299	24%
—	イソプロピルアルコール																		
—	メチルアルコール(メタノール)																		
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																		
—	アセトン																		
392	ノルマル-ヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン	163	8%	163	8%	165	8%	183	8%	166	8%	164	8%	113	8%	108	8%	105	8%
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																		
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール	161	8%	161	8%	163	8%	181	8%	164	8%	162	8%	111	8%	107	8%	105	8%
—	その他	705	36%	705	36%	717	36%	793	36%	722	36%	711	36%	539	40%	517	40%	510	41%
—	物質別データなし	72	4%	72	4%	74	4%	81	4%	75	4%	82	4%						
	合計	1,958	100%	1,958	100%	1,992	100%	2,203	100%	2,005	100%	1,976	100%	1,358	100%	1,302	100%	1,253	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2)排出量自体を把握していない年度がある場合は、直近の把握している年度の排出量を用いて集計(※印)

注3)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本ゴム工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																		
—	炭化水素類																		
—	酢酸エチル																		
—	メチルエチルケトン																		
80	キシレン																		
—	イソプロピルアルコール																		
—	メチルアルコール(メタノール)																		
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																		
—	アセトン																		
392	ノルマルーヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン																		
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																		
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他																		
—	物質別データなし	22,843	100%	19,445	100%	18,244	100%	17,443	100%	14,474	100%	11,392	100%	11,719	100%	10,455	100%	8,852	100%
	合計	22,843	100%	19,445	100%	18,244	100%	17,443	100%	14,474	100%	11,392	100%	11,719	100%	10,455	100%	8,852	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本自動車車体整備協同組合連合会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】※		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																		
—	炭化水素類																		
—	酢酸エチル																		
—	メチルエチルケトン																		
80	キシレン																		
—	イソプロピルアルコール																		
—	メチルアルコール(メタノール)																		
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																		
—	アセトン																		
392	ノルマルーヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン																		
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																		
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他																		
—	物質別データなし	705	100%	705	100%	483	100%	456	100%	394	100%	424	100%	451	100%	424	100%	422	100%
	合計	705	100%	705	100%	483	100%	456	100%	394	100%	424	100%	451	100%	424	100%	422	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2)排出量自体を把握していない年度がある場合は、直近の把握している年度の排出量を用いて集計(※印)

注3)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本粘着テープ工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	16,639	65%	8,389	62%	7,085	62%	5,873	59%	5,930	63%	4,949	68%	4,141	74%	3,765	74%	3,468	70%
—	炭化水素類																		
—	酢酸エチル	5,165	20%	2,800	21%	1,629	14%	1,752	18%	1,291	14%	946	13%	539	10%	538	11%	539	11%
—	メチルエチルケトン	784	3%	388	3%	305	3%	316	3%	253	3%	270	4%	146	3%	62	1%	102	2%
80	キシレン	139	1%	25	0%	26	0%	27	0%	68	1%	32	0%	8	0%	30	1%	3	0%
—	イソプロピルアルコール																		
—	メチルアルコール(メタノール)																		
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																		
—	アセトン																		
392	ノルマルーヘキサン	736	3%	316	2%	877	8%	687	7%	982	10%	420	6%	232	4%	432	8%	518	10%
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン																		
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																		
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他	2,047	8%	1,597	12%	1,582	14%	1,300	13%	947	10%	612	8%	493	9%	287	6%	318	6%
—	物質別データなし																		
	合計	25,510	100%	13,515	100%	11,504	100%	9,955	100%	9,471	100%	7,229	100%	5,559	100%	5,114	100%	4,947	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
 注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名： 全国楽器協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】※		【18年度】※		【19年度】※		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	110	46%	110	46%	110	46%	110	46%	34	33%	25	33%	23	41%	22	40%	21	45%
—	炭化水素類																		
—	酢酸エチル																		
—	メチルエチルケトン																		
80	キシレン	41	17%	41	17%	41	17%	41	17%	19	19%	10	13%	5	9%	6	11%	5	11%
—	イソプロピルアルコール																		
—	メチルアルコール(メタノール)																		
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	9	4%	9	4%	9	4%	9	4%	12	12%	13	17%	0	0%	0	0%	0	0%
—	アセトン																		
392	ノルマルーヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン																		
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																		
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン	81	34%	81	34%	81	34%	81	34%	36	35%	29	38%	28	50%	27	49%	20	43%
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他																		
—	物質別データなし																		
	合計	240	100%	240	100%	240	100%	240	100%	102	100%	76	100%	56	100%	55	100%	47	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2)排出量自体を把握していない年度がある場合は、直近の把握している年度の排出量を用いて集計(※印)

注3)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 日本釣用品工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																		
—	炭化水素類																		
—	酢酸エチル																		
—	メチルエチルケトン																		
80	キシレン																		
—	イソプロピルアルコール																		
—	メチルアルコール(メタノール)																		
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	110	100%	80	100%	79	100%	80	100%	78	100%	78	100%	69	100%	63	100%	66	100%
—	アセトン																		
392	ノルマルーヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン																		
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																		
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他																		
—	物質別データなし																		
	合計	110	100%	80	100%	79	100%	80	100%	78	100%	78	100%	69	100%	63	100%	66	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本金属ハウスウェア工業組合

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】※		【18年度】※		【19年度】※		【20年度】※		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																		
—	炭化水素類																		
—	酢酸エチル																		
—	メチルエチルケトン																		
80	キシレン																		
—	イソプロピルアルコール																		
—	メチルアルコール(メタノール)																		
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																		
—	アセトン																		
392	ノルマルーヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン																		
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																		
281	トリクロロエチレン	489	100%	489	100%	489	100%	489	100%	489	100%	312	100%	302	100%	270	100%	262	100%
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他																		
—	物質別データなし																		
	合計	489	100%	489	100%	489	100%	489	100%	489	100%	312	100%	302	100%	270	100%	262	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2)排出量自体を把握していない年度がある場合は、直近の把握している年度の排出量を用いて集計(※印)

注3)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本金属洋食器工業組合

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】※		【18年度】※		【19年度】※		【20年度】※		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																		
—	炭化水素類																		
—	酢酸エチル																		
—	メチルエチルケトン																		
80	キシレン																		
—	イソプロピルアルコール																		
—	メチルアルコール(メタノール)																		
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																		
—	アセトン																		
392	ノルマルーヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン																		
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																		
281	トリクロロエチレン	201	100%	201	100%	201	100%	201	100%	201	100%	39	100%	33	99%	29	100%	28	100%
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他																		
—	物質別データなし																		
	合計	201	100%	201	100%	201	100%	201	100%	201	100%	39	100%	33	100%	29	100%	28	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2)排出量自体を把握していない年度がある場合は、直近の把握している年度の排出量を用いて集計(※印)

注3)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本ガス石油機器工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】※		【18年度】※		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																		
—	炭化水素類																		
—	酢酸エチル																		
—	メチルエチルケトン																		
80	キシレン																		
—	イソプロピルアルコール																		
—	メチルアルコール(メタノール)																		
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																		
—	アセトン																		
392	ノルマルーヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン																		
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																		
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他																		
—	物質別データなし	765	100%	765	100%	765	100%	581	100%	526	100%	499	100%	513	100%	588	100%	529	100%
	合計	765	100%	765	100%	765	100%	581	100%	526	100%	499	100%	513	100%	588	100%	529	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2)排出量自体を把握していない年度がある場合は、直近の把握している年度の排出量を用いて集計(※印)

注3)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：産業環境管理協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】※		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																		
—	炭化水素類																		
—	酢酸エチル																		
—	メチルエチルケトン																		
80	キシレン																		
—	イソプロピルアルコール																		
—	メチルアルコール(メタノール)																		
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																		
—	アセトン																		
392	ノルマルーヘキサン																		
—	シクロヘキサン																		
53	エチルベンゼン																		
128	クロロメタン(塩化メチル)																		
232	N,N-ジメチルホルムアミド																		
318	二硫化炭素																		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																		
281	トリクロロエチレン																		
134	酢酸ビニル																		
400	ベンゼン																		
240	スチレン																		
—	プロピルアルコール																		
157	1,2-ジクロロエタン																		
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																		
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																		
—	クロロエタン																		
—	メチルイソブチルケトン																		
—	ブチルセロソルブ																		
86	クレゾール																		
—	酢酸ブチル																		
—	イソブタノール																		
262	テトラクロロエチレン																		
349	フェノール																		
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																		
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																		
—	ブタノール																		
—	その他																		
—	物質別データなし	2,600	100%	2,600	100%	2,586	100%	2,563	100%	2,109	100%	1,385	100%	1,666	100%	1,784	100%	1,576	100%
	合計	2,600	100%	2,600	100%	2,586	100%	2,563	100%	2,109	100%	1,385	100%	1,666	100%	1,784	100%	1,576	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2)排出量自体を把握していない年度がある場合は、直近の把握している年度の排出量を用いて集計(※印)

注3)年間排出量には、推計値を含む場合がある。